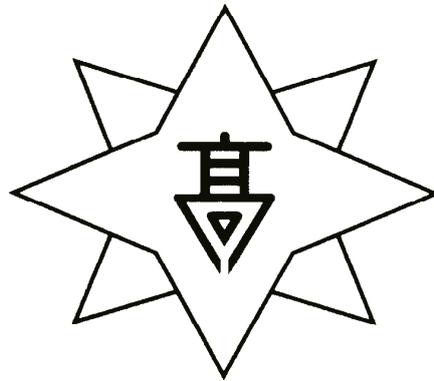


シラバス

令和2年度
(2年用)



滋賀県立米原高等学校

目 次

教 科	科 目	ページ
国 語	現代文B	1
	古典B	2
地歴公民	世界史B	4
	日本史B	5
	地理B	6
	現代社会	7
	倫 理	8
数 学	数学Ⅱ	9
	数学Ⅲ	11
	数学B	12
理 科	物 理	13
	化学基礎	14
	化 学	16
	生 物	17
	地学基礎	18
保健体育	体 育	19
	保 健	21
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	22
	英語表現Ⅱ	24
	実践コミュニケーションⅡ	25
情 報	社会と情報	26
理 数	理数数学Ⅱ	27
	理数数学特論	28
	理数物理	29
	理数化学	30
	理数生物	31
	課題研究	32

国語・現代文B [2年]普通科・理数科 (2)単位

目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り、人生を豊かにする態度を育てる。	
使用教科書	高等学校 改訂版 現代文B(第一学習社)	
副教材	新版四訂 カラー版 新国語便覧(第一学習者) 読解を深める現代文単語 評論・小説 改訂版(桐原書店) 熟語を音訓から学ぶ 新版 品詞別 頻出漢字マスター3000(尚文出版)	
時期	学習内容	評価規準
6月 6/1~ 6/8~ 6/15~ 6/22~ 中間考査	「山月記」中島敦	・優れた短編小説の持つ緻密な構成や文体を読み味わう。(関心・意欲 態度、読む能力) ・主人公の性格や生き方を鏡として、自分の中にもいるかもしれない「虎」について振り返り、思索を深める。(知識・理解、話す・聞く能力、書く能力)
7月 6/29~ 7/6~ 7/13~ 7/20~ 期末考査	『「私」中心の日本語』森田良行	・筆者が指摘する日本語表現の特性を正しく読み取る。(読む能力、知識・理解) ・「私」の視点をめぐる具体例と、抽象的な記述との関係を理解している。(知識・理解、書く能力) ・建築を存在としてとらえ直すとはどういうことか、正しく読み取る。(読む能力)
8月 8/3~ 8/17~ 8/24~	「存在としての建築」隈 研吾	・二十世紀建築に対する筆者の見解をふまえて、人間にとっての本当の豊かさとは何かを話し合う。(書く能力、話す・聞く能力)
9月 8/31~ 9/7~ 9/14~ 9/23~ 9/28~ 中間考査	「こころ」夏目漱石	・近代の代表的な小説を読むことによって、近代という時代や時代と人間との関係について理解を深める。(知識・理解、書く能力) ・小説に描かれた人間の心理をじっくり読み込む。(関心・意欲・態度、読む能力)
10月 10/5~ 10/12~ 10/19~ 10/26~	「働かないアリの意義がある」長谷川英祐	・アリのコロニーにおける「働かないアリ」の意義について、正しく理解する。(読む能力、知識・理解) ・安定した組織を持つ特徴について、正しく理解している。(読む能力、書く能力)
11月 11/2~ 11/9~ 11/16~ 11/24~ 期末考査	「消費社会とは何か」国分功一郎	・逆説的な結論に至るまでの論の展開を正確に把握する。(関心・意欲・態度) ・筆者が指摘する消費社会の問題点を自分の経験と結び付けて理解しようとしている。(関心・意欲・態度、書く能力)
12月 12/7~ 12/14~ 12/21~	「わたしが一番きれいだったとき」茨木のり子 「ちがう人間ですよ」長谷川龍生 「永訣の朝」宮沢賢治	・詩の基本的な読み方を習得する。(関心・意欲・態度、知識・理解) ・作者の思いについて、理解を深める。(読む能力、書く能力)
1月 1/7~ 1/12~ 1/18~ 1/25~	『「グローバル化」の中の異文化理解』住原則也	・グローバル化の背景にある、経済、社会、技術の変化について、理解する。(関心・意欲・態度、読む能力) ・「グローバル化」を、自分の身の回りで起こっている現象として捉えている。(書く能力、話す・聞く能力)
2月 2/1~ 2/8~ 2/15~ 2/22~ 学年末考査	「トランス・サイエンスの時代」村上陽一郎	・「環境問題」に対する自分の立場を相対的に捉えようとしている。(関心・意欲・態度) ・「シナリオ」という考え方が、現実の問題に取り組む際に持つ、有用性について理解する。(知識・理解、書く能力)
3月 3/4~ 3/8~ 3/15~ 3/23~	「連帯という言葉の意味」内山節	・筆者が指摘する「連帯」の定義の問題点を理解する。(関心・意欲・態度) ・筆者の言う生命活動の結び合いについて、自分の身にひきつけて考える。(書く能力、話す・聞く能力)
言語活動の充実のための学習活動	作品の読み取りなどを通して、自らの意見をまとめ、発表するとともに、生徒間で意見を交流させる。 種々のテーマについて状況に応じて、スピーチや班別討論、ディベートを行う。	
評価方法	①定期考査 ②課題考査 ③授業への取り組み ④提出物 ⑤小テスト	

国語・古典B [2年]普通科 (3)単位

目 標		古文及び漢文を読解する能力を養うとともに、多角的に物事を捉え、感じ、考えることができる態度を育てる。	
使用教科書		『新 探求古典B 古文編』(桐原書店) 『新 探求古典B 漢文編』(桐原書店)	
副 教 材		『つながる・まとまる 古文単語 500』(いっずな書店) 『これでわかる 明快古典文法』(いっずな書店) 『精選漢文』(尚文出版) 『新版四訂 カラー版 新国語便覧』(第一学習社)	
時 期		学 習 内 容	評 価 基 準
6月	6/1～ 6/8～	『歴代名画記』「画竜点睛」(漢文)	物語の展開を理解し、その論理を理解することができる。(読む能力・話す・聞く能力) 漢文の基本的な句法・語法を理解している。(知識・理解) 基本的な助動詞や敬語の用法について復習する。(知識・理解・書く能力) 歌物語の基本的な構成について知ろうとしている。(関心・意欲・態度)
	6/15～ 6/22～ 中間考査	『世説新語』「漱石枕流」(漢文) 『伊勢物語』「初冠」(古文)	
7月	6/29～ 7/6～	『伊勢物語』「行く蛭」(古文) 『更級日記』「門出」(古文)	登場人物の感情の機微を読み取っている。(読む能力) 形のうえで紛らわしい語を文法的に識別できている。(知識・理解) 古文における敬語の種類と働きについて理解している。(知識・理解)
	7/13～ 7/20～ 期末考査	『列子』「杞憂」(漢文)	
8月	8/3～ 8/17～	『絶句』「雑詩」「望廬山瀑布」(漢文)	漢文の基本的な句法・語法を理解している。(知識・理解) 漢詩に描かれた人物や情景・心情などを、表現に即して味わおうとしている。(関心・意欲・態度、話す・聞く能力)
	8/24～ 8/31～	『古体詩』「桃夭」「勅勒歌」(漢文)	
9月	9/7～ 9/14～	『枕草子』「中納言参りたまひて」(古文)	古体詩と近体詩の形式上の比較をしたうえで、漢詩の詩形や押韻などについて知識の定着ができている。(知識・理解) 古典文法における助動詞および敬語の種類と働きについて、より発展的に学習しようとしている。(関心・意欲・態度、書く能力)
	9/23～ 9/28～ 中間考査	『大鏡』「花山院の出家」(古文)	
10月	10/5～ 10/12～	『史記』「鴻門之会」(漢文)	著名な逸話について興味を持ち、内容を深く知ろうとしている。(関心・意欲・態度)
	10/19～ 10/26～	(一)沛公、項王に見ゆ (二)樊噲、頭髮上指す (三)臣死すら且つ避けず	
11月	11/2～ 11/9～	(四)沛公、車騎を置きて脱す (五)豎子、与に謀るに足らず	物語の展開を理解し、登場人物の心情を読み取ろうとしている。(関心・意欲・態度) 登場人物の関係について理解し、その行動の意図について読み取ることができる。(読む能力)
	11/16～ 11/24～ 期末考査	『史記』「四面楚歌」(漢文) (一)項王、悲歌愴慨す (二)項王、自刎して死す	
12月	12/7～ 12/14～	『源氏物語』「光源氏の誕生」(古文)	著名な古典文学作品である『源氏物語』やその作者について、関心を持ち、より深く知ろうとしている。(関心・意欲・態度、話す・聞く能力)
	12/21～		
1月	1/7～ 1/12～	『源氏物語』「若紫との出会い」(古文)	これまでに習得した古文単語や古典文法の知識を駆使し、速く・正確に内容を読み取ることができる。(読む能力・書く能力) 登場人物の相関関係やその行動・心情について、正確に理解している。(読む能力)
	1/18～		
2月	1/25～ 2/1～	『孟子』「性善」(漢文) 「四端」(漢文)	二つの儒家の思想について、これまでに習得した語法や句法の知識を駆使し、論理を正確に読み取ることができる。(読む能力)
	2/8～ 2/15～ 2/22～ 学年末考査	『荀子』「性悪」(漢文) 「学不可以已」(漢文)	
3月	3/4～ 3/8～	『平家物語』「宇治川の先陣」(古文)	古典文学の中で、軍記物語というジャンルについて、文学史的な位置づけも含めて知ろうとしている。(知識・理解・関心・意欲・態度)
	3/15～ 3/23～	『平家物語』「先帝入水」(古文)	
言語活動の充実のための学習活動		古典教材の読み取りなどを通して、自らの意見をまとめ、発表するとともに、生徒間で意見を交流させる。 種々のテーマについてスピーチや班別討論、ディベートを行う。	
評価方法		①定期考査 ②課題テスト ③授業への取り組み ④提出物 ⑤小テスト	

国語・古典B [2年]理数科 (2)単位

目 標		古文及び漢文を読解する能力を養うとともに、多角的に物事を捉え、感じ、考えることができる態度を育てる。	
使用教科書		『新 探求古典B 古文編』(桐原書店) 『新 探求古典B 漢文編』(桐原書店)	
副 教 材		『つながる・まとまる 古文単語 500』(いいずな書店) 『これでわかる 明快古典文法』(いいずな書店) 『精選漢文』(尚文出版) 『新版四訂 カラー版 新国語便覧』(第一学習社)	
時 期		学 習 内 容	評 価 基 準
6月	6/1～	『歴代名画記』「画竜点睛」(漢文)	物語の展開を理解し、その論理を理解することができる。(読む能力・話す・聞く能力)
	6/8～		
6月	6/15～	『世説新語』「漱石枕流」(漢文)	漢文の基本的な句法・語法を理解している。(知識・理解)
	6/22～		
6月	中間考査	『伊勢物語』「初冠」(古文)	基本的な助動詞や敬語の用法について復習する。(知識・理解・書く能力)
	6/29～		
7月	7/6～	『更級日記』「門出」(古文)	歌物語の基本的な構成について知ろうとしている。(関心・意欲・態度)
	7/13～		
7月	7/20～	『列子』「杞憂」(漢文)	登場人物の感情の機微を読み取っている。(読む能力)
	期末考査		
8月	8/3～	『絶句』「雑詩」(漢文)	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別できている。(知識・理解)
	8/17～		
8月	8/24～	『古体詩』「桃夭」「勅勒歌」(漢文)	古文における敬語の種類と働きについて理解している。(知識・理解)
	8/31～		
9月	9/7～	『枕草子』「中納言参りたまひて」(古文)	漢文の基本的な句法・語法を理解している。(知識・理解)
	9/14～		
9月	9/23～	『大鏡』「花山院の出家」(古文)	漢詩に描かれた人物や情景・心情などを、表現に即して味わおうとしている。(関心・意欲・態度、話す・聞く能力)
	9/28～		
10月	中間考査	『史記』「鴻門之会」(漢文)	古体詩と近体詩の形式上の比較をしたうえで、漢詩の詩形や押韻などについて知識の定着ができている。(知識・理解)
	10/5～		
10月	10/12～	(一)沛公、項王に見ゆ	古典文法における助動詞および敬語の種類と働きについて、より発展的に学習しようとしている。(関心・意欲・態度、書く能力)
	10/19～		
10月	10/26～	(三)臣死すら且つ避けず	登場人物の感情の機微を読み取り、理解している。(読む能力)
	11/2～		
11月	11/9～	(四)沛公、車騎を置きて脱す	著名な逸話について興味を持ち、内容を深く知ろうとしている。(関心・意欲・態度)
	11/16～		
11月	11/24～	『史記』「四面楚歌」(漢文)	物語の展開を理解し、登場人物の心情を読み取ろうとしている。(関心・意欲・態度)
	期末考査		
11月	11/24～	(一)項王、悲歌が慨す	登場人物の関係について理解し、その行動の意図について読み取ることができる。(読む能力)
	11/24～		
11月	期末考査	(二)項王、自刎して死す	場面を正確に理解し、登場人物の状況について読み取り、その感情について考えようとする。(関心・意欲・態度)
	12/7～		
12月	12/14～	『源氏物語』「光源氏の誕生」(古文)	登場人物の感情の機微を読み取り、理解している。(読む能力)
	12/21～		
1月	1/7～	『源氏物語』「若紫との出会い」(古文)	著名な古典文学作品である『源氏物語』やその作者について、関心を持ち、より深く知ろうとしている。(関心・意欲・態度、話す・聞く能力)
	1/12～		
1月	1/18～	『孟子』「性善」(漢文)	これまでに習得した古文単語や古典文法の知識を駆使し、速く・正確に内容を読み取ることができる。(読む能力・書く能力)
	1/25～		
2月	2/1～	「四端」(漢文)	登場人物の相関関係やその行動・心情について、正確に理解している。(読む能力)
	2/8～		
2月	2/15～	『荀子』「性悪」(漢文)	二つの儒家の思想について、これまでに習得した語法や句法の知識を駆使し、論理を正確に読み取ることができる。(読む能力)
	2/22～		
2月	学年末考査	「学不可以已」(漢文)	二つの儒家の思想を比較・検討して、その特徴や正当性について、より深く考察している。(関心・意欲・態度)
	3/4～		
3月	3/8～	『平家物語』「宇治川の先陣」(古文)	古典文学の中で、軍記物語というジャンルについて、文学史的な位置づけも含めて知ろうとしている。(知識・理解・関心・意欲・態度)
	3/15～		
3月	3/23～	『平家物語』「先帝入水」(古文)	語り物独特の言い回しや慣用表現に注意して読み、登場人物の行動やその背後にある心情を読み取ることができる。(読む能力)
	3/23～		
言語活動の充実のための学習活動		古典教材の読み取りなどを通して、自らの意見をまとめ、発表するとともに、生徒間で意見を交流させる。種々のテーマについてスピーチや班別討論、ディベートを行う。	
評価方法		①定期考査 ②課題テスト ③授業への取り組み ④提出物 ⑤小テスト	

地歴公民・世界史B [2年]普通科文型 (3)単位

目 標		古代から現代までの世界の諸地域の主要な歴史の流れを幅広く学習し、世界史の基礎的な知識を定着させる。 その上で、グローバル化が進む国際社会を主体的に生きるための資質を養う。	
使用教科書		詳説世界史B(山川出版社)	
副 教 材		グローバルワイド最新世界史図表(第一学習社)、世界史重要語句 Check List	
時 期		学 習 内 容	評 価 規 準
6月	6/1～ 6/8～ 6/15～ 6/22～ 中間考査	先史の世界 古代オリエントと地中海世界 インドの古典文明 中国の古典文明	関心・意欲・態度 ・世界の諸地域の歴史事象に関心を持っているか。 ・歴史の流れを積極的に理解しようとしているか。 ・復習に努めているか。
7月	6/29～ 7/6～ 7/13～ 7/20～ 期末考査	東アジア世界の形成 " イスラム世界の形成 " 中世ヨーロッパ世界 "	思考・判断・表現 ・各時代・地域の資料や図表を様々な観点からとらえ 当時の社会的背景を考察することができるか ・各時代と現代社会とを比較することができるか。
8月	8/3～ 8/17～ 8/24～	東アジア世界の発展 " "	資料活用の技能 ・歴史上の人物や出来事を説明する際、効果的な資料や図表を用いることができるか。
9月	8/31～ 9/7～ 9/14～ 9/23～ 9/28～	印象に残った人物の研究と発表 近世ヨーロッパ世界の形成 " 近世ヨーロッパ世界の展開	知識・理解 ・古代から現代までの基礎的な知識が定着しているか。 ・整理ノートをしっかりまとめ、授業で学んだことを理解しているか。
10月	中間考査		
11月	10/5～ 10/12～ 10/19～ 10/26～ 11/2～ 11/9～ 11/16～ 11/24～	近世ヨーロッパとアメリカ世界の成立 アメリカ独立革命フランス革命 ナポレオン ウィーン体制 ヨーロッパの再編 アメリカの発展 アジア諸地域の動揺 オスマンと南アジア 東南アジアの植民地化 東アジアの激動	
12月	期末考査		
1月	12/7～ 12/14～ 12/21～ 1/7～ 1/12～ 1/18～ 1/25～	帝国主義 二つの世界大戦 第一次世界大戦 ヴェルサイユ体制 世界恐慌 第二次世界大戦 冷戦と第三世界	
2月	2/1～ 2/8～ 2/15～ 2/22～	冷戦の激化 第三世界の台頭	
3月	学年末考査		
	3/4～ 3/8～ 3/15～ 3/23～	現代の世界	
言語活動の充実のための学習活動		歴史上の人物調べ学習を課す。その内容について発表の機会を設定する。	
評価方法		定期考査、課題の提出状況、学習に取り組む姿勢など総合的に判断して 評価する。	

地歴公民・日本史B [2年]普通科文型・普通科英語コース (3)単位

目 標		原始・古代・中世及び近世から近現代に至るわが国の歴史の展開を、世界史的な視野に立ち、わが国を取り巻く国際環境などと関連付けて考察させることによって、歴史的思考力を培う。また、日本文化を深く理解し、国民としての自覚と国際社会において主体的に生きる日本人としての資質を養う。	
使用教科書		『詳説日本史』(山川出版社)	
副 教 材		『図説日本史通覧』(帝国書院) 『日本史重要語句 Check List 2020』(啓隆社)	
時 期		学 習 内 容	評 価 規 準
6月	6/1～	文化の始まり	関心・意欲・態度
	6/8～	農耕社会の成立	
6月	6/15～	古墳とヤマト政権	・日本や地域の歴史事象に関心を持ち、自らの歴史認識を積極的に深めようとしているか。
	6/22～	飛鳥の朝廷	
7月	中間考査	律令国家への道 平城京の時代	・自らの歴史認識を深めるために、授業に積極的に臨んでいるか。
	6/29～	天平文化	
7月	7/6～	平安朝廷の形成	思考・判断・表現
	7/13～	摂関政治	
8月	7/20～	国風文化 地方政治の展開と武士	・各時代・地域の資料や図表を様々な観点からとらえ、当時の社会的背景を考察し説明することができるか。
	期末考査		
8月	8/3～	院政と平氏の台頭 鎌倉幕府の成立	・各時代と現代社会とを比較し考察することができるか。
	8/17～	武士の社会	
9月	8/24～	蒙古襲来と幕府の衰退	資料活用の技能
	8/31～	鎌倉文化	
9月	9/7～	室町幕府の成立	・授業で扱う歴史的な史料を適切に読み取ることができるか。
	9/14～	幕府の衰退と庶民の台頭	
10月	9/23～	室町文化 戦国大名の登場	知識・理解
	9/28～		
10月	中間考査		・日本史の人物や出来事など基礎的な知識が定着しているか。
	10/5～	織豊政権・桃山文化	
11月	10/12～	幕藩体制の成立	・歴史上の人物や事象の関係性を理解しているか。
	10/19～	幕藩社会の構造	
11月	10/26～	幕政の安定	
	11/2～	経済の発展	
12月	11/9～	元禄文化	
	11/16～	幕政の改革 幕府の衰退と近代への道	
12月	11/24～		
	期末考査		
1月	12/7～	宝暦・天明期及び化政文化	
	12/14～	開国と幕末の動乱	
1月	12/21～	明治維新と富国強兵	
	1/7～	立憲国家の成立と日清戦争	
2月	1/12～	日露戦争と国際関係	
	1/18～	近代産業の発展	
2月	1/25～	近代文化の発達	
	2/1～	第一次世界大戦と日本	
3月	2/8～	ワシントン体制	
	2/15～	市民生活の変容と大衆文化	
3月	2/22～		
	学年末考査		
3月	3/4～	恐慌の時代・軍部の台頭	
	3/8～	第二次世界大戦	
3月	3/15～	占領と改革・冷戦の開始と講和	
	3/23～	経済復興から高度成長へ 経済大国への道	
言語活動の充実のための学習活動		・時期ごとにいくつかテーマを設定してレポートを作成させ、優秀な作品については授業の中で発表させる。 ・ペアワーク、班学習等で、授業内容を説明しあったり、質問をすることによって、生徒同士の言語を利用した学力伸張をはかる。	
評価方法		定期考査、小テスト、ノートやファイルの点検内容、授業への取り組み状況を総合的に評価する。	

地歴公民・地理B [2年]普通科理型・理数科 (2)単位

目 標		1. 地理の基礎基本分野である「自然環境」「資源と産業」に関する知識を定着させる。 2. 「生活と文化」について身近な地域と関連づけながら、分布の多様性や規則性を理解させる。 3. 地理的な見方・考え方を養うとともに、地理情報と地図の活用に関する技能を身につける。	
使用教科書		新編詳解地理B(二宮書店)、現代地図帳(二宮書店)	
副 教 材		新詳地理資料 COMPLETE 2020(帝国書院)、ウィニングコンパス 地理の整理と演習 2020(東京法令出版)	
時 期		学 習 内 容	
時 期		評 価 規 準	
6月	6/1~	地理情報と地図	関心・意欲・態度
	6/8~	〃	
6月	6/15~	大地形	<ul style="list-style-type: none"> 世界の諸地域の地理的事象に関心を持っているか。 グローバル化が進む現代世界に関心を持ち、自ら情報収集に努めているか。 復習に努めているか。
	6/22~	〃	
中間考査		小地形	思考・判断・表現
7月	6/29~	地図と地域調査	
	7/6~	世界の気候(熱帯)	
7月	7/13~	〃 (乾燥帯)	思考・判断・表現
	7/20~	〃 (温帯)	
期末考査		〃 (冷帯・寒帯)	資料活用
8月	8/3~	資源と産業(農林水産業)	
	8/17~	〃	
8月	8/24~	〃	<ul style="list-style-type: none"> 図表をはじめとする資料を様々な観点から捉えることができているか。 資料から得た情報から地理的思考ができているか。また、そのための情報収集ができているか。 日常生活での経験やそこから得た知識を、問題解決の情報として活用できているか。
	8/31~	〃	
9月	9/7~	〃	資料活用
	9/14~	資源と産業(資源・エネルギー)	
9月	9/23~	〃	資料活用
	9/28~	〃	
中間考査		資料活用	資料活用
10月	10/5~	資源と産業(工業)	
	10/12~	〃	
10月	10/19~	〃	<ul style="list-style-type: none"> 図表・地図などの基本的な資料を読み取れているか。 読み取った情報を適切な地図や図法で活用できているか。
	10/26~	〃	
11月	11/2~	〃	知識・理解
	11/9~	資源と産業(流通と消費)	
11月	11/16~	〃	<ul style="list-style-type: none"> 現代世界の地理的な知識が定着しているか。 授業で学んだことを理解できているか(考査による評価を含む)。
	11/24~	〃	
期末考査		〃	知識・理解
12月	12/7~	都市と村落	
	12/14~	〃	
12月	12/21~	〃	知識・理解
	1/7~	〃	
1月	1/12~	人口問題	知識・理解
	1/18~	〃	
1月	1/25~	〃	知識・理解
	2/1~	生活文化と民族・宗教(衣食住)	
2月	2/8~	生活文化と民族・宗教(言語・宗教)	知識・理解
	2/15~	〃	
2月	2/22~	生活文化と民族・宗教(民族と国家)	知識・理解
	学年末考査	〃	
3月	3/4~	学習内容の復習	知識・理解
	3/8~	演習	
3月	3/15~	〃	知識・理解
	3/23~	〃	
言語活動の充実のための学習活動		図表・写真・地図などの資料から読み取れることを発表させる。 地形図の読図を通じて、個々に読み取ったこと(新旧地形図の比較、土地利用の変化など)を発表させる。	
評価方法		定期考査、小テスト、課題・授業ノートの提出状況、学習への取り組み姿勢などを総合的に判断し評価する。	

地歴公民・現代社会 [2年]普通科英語コース (2)単位

目 標		1. 現代社会における制度・歴史的背景・問題点等を理解し、現代社会に対する認識を高める。(知識・理解) 2. 現代社会にかかわる諸資料を適切に読み取ることができるようにする。(技能) 3. 現代社会が抱える諸課題に対して、その望ましい方向性や解決策を主体的に考えられるようにする。(思考・判断・表現) 4. 現代社会に対する自らの考えを、自分の言葉で適切に表現することができるようにする。(思考・判断・表現) 5. 現代社会に対する関心を高め、そこにある課題を自ら発見しようとする態度を養う。(関心・意欲・態度)	
使用教科書		『改訂版 高等学校 現代社会』(数研出版)	
副 教 材		『最新現代社会資料集 2020』(第一学習社編集部)	
時 期	学 習 内 容	評 価 規 準	
6月	6/1~ 6/8~	青年期の特徴・課題 "	(知識・理解)
	6/15~ 6/22~	現代社会における青年期の生き方 "	・授業で取り上げる現代社会の制度・歴史的背景・問題点等を理解しているか。
7月	中間考査 6/29~	古代の人々に学ぶ生き方・考え方 近代の人々に学ぶ生き方・考え方	(技能)
	7/6~ 7/13~ 7/20~	日本の伝統思想 " 国際社会に生きる日本人	・授業で取り上げる諸資料を適切に読み取ることができるか。
8月	8/3~ 8/17~	人間と法のかかわり 民主政治の歴史と原理	(思考・判断・表現)
	8/24~ 8/31~	現代の民主政治の制度 世界の主な政治体制	・現代社会が抱える諸課題に対して、その望ましい方向性や解決策を主体的に考えられるか。 ・現代社会に対する自らの考えを、自分の言葉で適切に表現することができるか。
9月	9/7~ 9/14~	明治憲法と日本国憲法 基本的人権と平等権・自由権	(関心・意欲・態度)
	9/23~ 9/28~	基本的人権と社会権 新しい人権と人権の国際的な広がり	・現代社会に対して関心を持っているか。 ・現代社会の抱える課題を自ら発見しようとしているか。
10月	10/5~ 10/12~	日本国憲法における安全保障 日本の三権分立	
	10/19~ 10/26~	現代の地方自治 日本の選挙制度と政治参加	
11月	11/2~ 11/9~	日本における行政機能の拡大 国際社会の諸制度	
	11/16~ 11/24~	国際社会の諸課題 経済社会の変容と現代の企業	
12月	12/7~ 12/14~	市場経済の原理 財政・金融政策	
	12/21~ 1月 1/7~	現代日本経済の歴史 日本の中小企業と農業	
2月	1/12~ 1/18~	経済発展とその課題 現代の社会保障制度	
	1/25~ 2月 2/1~	国際経済の展開 国際貿易のしくみ	
3月	2/8~ 2/15~	世界の経済格差 国際経済における地域統合	
	2/22~ 3月 3/4~	国際経済における地域統合 主権者教育	
言語活動の充実のための学習活動		・自分の考えを文章でまとめる機会を多く設け、生徒の思考力・判断力・表現力を育成する。 ・発表や議論の機会を多く設け、生徒の思考力・判断力・表現力を育成する。	
評価方法		定期考査、小テスト、学習態度、課題の提出状況などを総合して評価する。	

地歴公民・倫理 [2年]普通科文型 (2)単位

目 標		1. 人間尊重の精神に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めさせる。 2. 人格の形成に努める欲を高め、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。	
使用教科書		第一学習社 高等学校改訂版 倫理	
副 教 材		東京法令出版 アプローチ 倫理資料 PLUS	
時 期	学 習 内 容	評 価 規 準	
6月	6/1～	人間としての自覚	1. 関心・意欲・態度 ○予習として教科書を読んでいるか。 ○常に過去のプリントを持ってきているか。 ○ニュース番組を見たり、新聞を読んだりする習慣をつけようとしているか。 ○授業に興味を持って取り組んでいるか。 2. 思考・判断・表現 ○学習内容に関する社会的な課題を認識し、その解決に向けて考える姿勢をもてるか。 ○他者の見解・考え方を理解し、自分の思考・判断に取り入れようとする姿勢をもてるか。 ○教師の発問を理解し、自分の考えを的確に表現できるか。 ○わからないときに、積極的にそれを教師に伝えようとするか。 3. 資料活用の技能 ○与えられた資料・情報に対して、主体的に考え、判断する力があるか。 4. 知識・理解 ○授業で学んだことを理解しているか。(考査による評価を含む) ○倫理に関する基礎的な知識が定着しているか。
	6/8～	〃	
6/15～	キリスト教		
6/22～	〃		
中間考査	イスラーム		
7月	6/29～	仏教	
	7/6～	〃	
	7/13～	中国の思想	
7/20～	〃		
期末考査	〃		
8月	8/3～	国際社会に生きる日本人としての自覚 日本の風土	
	8/17～	〃	
9月	8/24～	〃	
	8/31～	外来思想の受容	
	9/7～	〃	
	9/14～	〃	
9月	9/23～	町人意識のめざめと庶民思想	
	9/28～	〃	
中間考査	〃		
10月	10/5～	西洋思想との出会い	
	10/12～	〃	
	10/19～	〃	
11月	10/26～	〃	
	11/2～	〃	
	11/9～	現代に生きる人間の倫理 人間の尊厳	
	11/16～	〃	
11月	11/24～	近代の科学革命と自然観	
	期末考査	〃	
12月	12/7～	自由で平等な社会の実現	
	12/14～	〃	
1月	12/21～	人間性の回復と主体性の確立	
	1/7～	〃	
	1/12～	現代の思想と人間像	
2月	1/18～	〃	
	1/25～	生命への畏敬と社会参加	
	2/1～	〃	
	2/8～	現代の諸課題と倫理 生命、環境	
2月	2/15～	〃	
	2/22～	家族・地域社会、情報社会	
	学年末考査	〃	
	3月	3/4～	宗教・文化、国際平和
3/8～		〃	
3/15～		〃	
3/23～		〃	
言語活動の充実のための学習活動	学習の進捗を鑑み、様々な思想に対する感想、様々な宗教の相違点、自分なりの哲学など、テーマを設定し発表しあう機会を設定する。		
評価方法	定期考査、課題・授業ノートの提出状況、学習への取り組み姿勢などを総合的に判断し評価する。		

数学・数学Ⅱ [2年]普通科文型・普通科英語コース (3)単位

目 標		数学における基本的な概念や原理・法則の理解を深め、事象を数学的に考察し処理する能力を高め、数学的活動を通して創造性の基礎を培うとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識し、それらを積極的に活用する態度を育てる。	
使用教科書		新編 数学Ⅱ【数研出版】(104 数研 数Ⅱ/329)	
副 教 材		4プロセス 数学Ⅱ+B【数研出版】 チャート式 数学Ⅱ+B【数研出版】	
時 期		学 習 内 容	評 価 規 準
6月	6/1~	(第2章 複素数と方程式)	〔関〕:関心・意欲・態度 〔見〕:数学的な見方や考え方 〔技〕:数学的な技能 〔知〕:知識・理解 ◎数を複素数まで拡張することにより、2次方程式が常に解をもつようになることに興味・関心をもつ。〔関〕 ◎2次方程式や高次方程式の解の意味を理解し、解の求め方についての基礎的な知識を身につけている。〔知〕
	6/8~	第3章 図形と方程式第2節 円	
6月	6/15~	第3節 軌跡と領域	◎図形の問題を座標平面上で代数的に解決する解法のよさを知らうとする。〔関〕 ◎与えられた条件を満たす直線や円の方程式の求め方を理解している。〔知〕
	6/22~	第4章 三角関数	
7月	中間考査	第1節 三角関数	◎弧度数で表された角の三角関数の値を、三角関数の定義によって求めることができる。〔知〕 ◎三角関数の周期とグラフの形の関係、定義域に注意して、正しいグラフがかけられる。〔見〕 ◎ $-1 \leq \sin \theta \leq 1$ などに注意して、おき換えによって三角関数を含む関数の最大値・最小値を考察できる。〔技〕 ◎加法定理を利用して、種々の三角関数の値を求めることができる。〔技〕〔知〕
	6/29~	第2節 加法定理	
7月	7/6~	第5章 指数関数と対数関数	◎指数が有理数の場合の累乗の定義を理解し、累乗の計算や、指数法則を利用した計算をすることができる。〔知〕
	7/13~		
8月	7/20~	第1節 指数関数	◎対数の定義を理解し、対数の値を求めることができる。〔知〕 ◎やや複雑な対数方程式や不等式に積極的に取り組もうとする。〔関〕 ◎おき換えによって関数の最大・最小問題を解くことができる。〔技〕
	8/3~	第2節 対数関数	
9月	8/17~	第6章 微分法と積分法	◎平均変化率・微分係数の定義を理解し、求めることができる。〔知〕 ◎導関数の定義が理解できている。〔知〕 ◎導関数を利用して、微分係数が求められることを理解している。〔技〕 ◎接線の方程式を求められる。〔技〕 ◎導関数を利用して、関数の極値を求めたり、グラフをかくことができる。〔知〕
	8/24~		
10月	8/31~	第1節 微分係数と導関数	◎不定積分・定積分の定義や性質を理解し、それを利用する計算方法を理解している。〔知〕 ◎面積 $S(x)$ が関数 $f(x)$ の原始関数であることに興味や関心をもち、考察しようとする。〔関〕 ◎直線や曲線で囲まれた部分の面積を定積分で表して求めることができる。〔知〕 ◎ $f(x) - g(x)$ の面積公式では、この式を線分の長さの総和として見ることができる。〔見〕 ◎絶対値のついた関数の定積分の計算を理解している。〔知〕
	9/7~	第2節 導関数の応用	
11月	9/14~	第3節 積分法	◎直線や曲線で囲まれた部分の面積を定積分で表して求めることができる。〔知〕 ◎ $f(x) - g(x)$ の面積公式では、この式を線分の長さの総和として見ることができる。〔見〕 ◎絶対値のついた関数の定積分の計算を理解している。〔知〕
	9/23~		
12月	9/28~	〔数Ⅱの復習〕	◎直線や曲線で囲まれた部分の面積を定積分で表して求めることができる。〔知〕 ◎ $f(x) - g(x)$ の面積公式では、この式を線分の長さの総和として見ることができる。〔見〕 ◎絶対値のついた関数の定積分の計算を理解している。〔知〕
	中間考査		
1月	10/5~	〔数Ⅱの復習〕	◎直線や曲線で囲まれた部分の面積を定積分で表して求めることができる。〔知〕 ◎ $f(x) - g(x)$ の面積公式では、この式を線分の長さの総和として見ることができる。〔見〕 ◎絶対値のついた関数の定積分の計算を理解している。〔知〕
	10/12~		
2月	10/19~	〔数Ⅱの復習〕	◎直線や曲線で囲まれた部分の面積を定積分で表して求めることができる。〔知〕 ◎ $f(x) - g(x)$ の面積公式では、この式を線分の長さの総和として見ることができる。〔見〕 ◎絶対値のついた関数の定積分の計算を理解している。〔知〕
	10/26~		
3月	11/2~	〔数Ⅱの復習〕	◎直線や曲線で囲まれた部分の面積を定積分で表して求めることができる。〔知〕 ◎ $f(x) - g(x)$ の面積公式では、この式を線分の長さの総和として見ることができる。〔見〕 ◎絶対値のついた関数の定積分の計算を理解している。〔知〕
	11/9~		
3月	11/16~	〔数Ⅱの復習〕	◎直線や曲線で囲まれた部分の面積を定積分で表して求めることができる。〔知〕 ◎ $f(x) - g(x)$ の面積公式では、この式を線分の長さの総和として見ることができる。〔見〕 ◎絶対値のついた関数の定積分の計算を理解している。〔知〕
	11/24~		
3月	12/7~	〔数Ⅱの復習〕	◎直線や曲線で囲まれた部分の面積を定積分で表して求めることができる。〔知〕 ◎ $f(x) - g(x)$ の面積公式では、この式を線分の長さの総和として見ることができる。〔見〕 ◎絶対値のついた関数の定積分の計算を理解している。〔知〕
	12/14~		
3月	12/21~	〔数Ⅱの復習〕	◎直線や曲線で囲まれた部分の面積を定積分で表して求めることができる。〔知〕 ◎ $f(x) - g(x)$ の面積公式では、この式を線分の長さの総和として見ることができる。〔見〕 ◎絶対値のついた関数の定積分の計算を理解している。〔知〕
	1/7~		
3月	1/12~	〔数Ⅱの復習〕	◎直線や曲線で囲まれた部分の面積を定積分で表して求めることができる。〔知〕 ◎ $f(x) - g(x)$ の面積公式では、この式を線分の長さの総和として見ることができる。〔見〕 ◎絶対値のついた関数の定積分の計算を理解している。〔知〕
	1/18~		
3月	1/25~	〔数Ⅱの復習〕	◎直線や曲線で囲まれた部分の面積を定積分で表して求めることができる。〔知〕 ◎ $f(x) - g(x)$ の面積公式では、この式を線分の長さの総和として見ることができる。〔見〕 ◎絶対値のついた関数の定積分の計算を理解している。〔知〕
	2/1~		
3月	2/8~	〔数Ⅱの復習〕	◎直線や曲線で囲まれた部分の面積を定積分で表して求めることができる。〔知〕 ◎ $f(x) - g(x)$ の面積公式では、この式を線分の長さの総和として見ることができる。〔見〕 ◎絶対値のついた関数の定積分の計算を理解している。〔知〕
	2/15~		
3月	2/22~	〔数Ⅱの復習〕	◎直線や曲線で囲まれた部分の面積を定積分で表して求めることができる。〔知〕 ◎ $f(x) - g(x)$ の面積公式では、この式を線分の長さの総和として見ることができる。〔見〕 ◎絶対値のついた関数の定積分の計算を理解している。〔知〕
	学年末考査		
言語活動の充実のための学習活動		日々の授業の中で行う。式の羅列ではなく、筋道と根拠がわかる答案を作ることを目標にする。 発表を中心として、言語活動を充実させる。	
評価方法		各定期考査による成績。 ◎単元ごとの小テストや、定期考査ごとの課題(ノート)等を参考にして評価する。	

数学・数学Ⅱ [2年]普通科理型 (3)単位

目 標	数学における基本的な概念や原理・法則の理解を深め、事象を数学的に考察し処理する能力を高め、数学的活動を通して創造性の基礎を培うとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識し、それらを積極的に活用する態度を育てる。	
使用教科書	改訂版 新編 数学Ⅱ【数研出版】(104 数研 数Ⅱ/310)	
副 教 材	4プロセス 数学Ⅱ+B【数研出版】 チャート式 数学Ⅱ+B【数研出版】	
時 期	学 習 内 容	評 価 規 準
6月 6/1~ 6/8~ 6/15~ 6/22~ 中間考査	第3章 第2節 円 第3節 軌跡と領域 第4章 三角関数 第1節 三角関数	[関]:関心・意欲・態度 [見]:数学的な見方や考え方 [技]:数学的な技能[知]:知識・理解 ◎数を複素数まで拡張することにより、2次方程式が常に解をもつようになることに興味・関心をもつ。[関] ◎2次方程式や高次方程式の解の意味を理解し、解の求め方についての基礎的な知識を身につけている。[知] ◎図形の問題を座標平面上で代数的に解決する解法のよさを知らうとする。[関] ◎与えられた条件を満たす直線や円の方程式の求め方を理解している。[知]
7月 6/29~ 7/6~ 7/13~ 7/20~ 期末考査	第2節 加法定理 第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数	◎条件を満たす軌跡や領域を式や図で表せる。[技] ◎弧度法で表された角の三角関数の値を、三角関数の定義によって求めることができる。[知] ◎三角関数の周期とグラフの形の関係、定義域に注意して、正しいグラフがかけられる。[見] ◎ $-1 \leq \sin \theta \leq 1$ などに注意して、おき換えによって三角関数を含む関数の最大値・最小値を考察できる。[技] ◎加法定理を利用して、種々の三角関数の値を求めることができる。[技][知] ◎指数が有理数の場合の累乗の定義を理解し、累乗の計算や、指数法則を利用した計算をすることができる。[知]
8月 8/3~ 8/17~ 8/24~ 8/31~ 9月 9/7~ 9/14~ 9/23~ 9/28~ 中間考査	第2節 対数関数 第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数	◎対数の定義を理解し、対数の値を求めることができる。[知] ◎やや複雑な対数方程式や不等式に積極的に取り組もうとする。[関] ◎おき換えによって関数の最大・最小問題を解くことができる。[技] ◎平均変化率・微分係数の定義を理解し、求めることができる。[知] ◎導関数の定義が理解できている。[知] ◎導関数を利用して、微分係数が求められることを理解している。[技] ◎接線の方程式を求められる。[技] ◎導関数を利用して、関数の極値を求め、グラフをかくことができる。[知]
10月 10/5~ 10/12~ 10/19~ 10/26~ 11月 11/2~ 11/9~ 11/16~ 11/24~ 期末考査	第2節 導関数の応用 第3節 積分法	◎不定積分・定積分の定義や性質を理解し、それを利用する計算方法を理解している。[知] ◎面積 $S(x)$ が関数 $f(x)$ の原始関数であることに興味や関心をもち、考察しようとする。[関] ◎直線や曲線で囲まれた部分の面積を定積分で表して求めることができる。[知] ◎ $f(x) - g(x)$ の面積公式では、この式を線分の長さの総和として見ることができる。[見]
12月 12/7~ 12/14~ 12/21~ 1月 1/7~ 1/12~ 1/18~ 1/25~ 2月 2/1~ 2/8~ 2/15~ 2/22~ 学年末考査		
3月 3/4~ 3/8~ 3/15~ 3/23~		
言語活動の充実のための学習活動	日々の授業の中で行う。式の羅列ではなく、筋道と根拠がわかる答案を作ることを目標にする。 発表を中心として、言語活動を充実させる。	
評価方法	各定期考査による成績。 ◎単元ごとの小テストや、定期考査ごとの課題(ノート)等を参考にして評価する。	

数学・数学Ⅲ [2年]普通科理型 (1)単位

目 標	数学における基本的な概念や原理・法則の理解を深め、事象を数学的に考察し処理する能力を高め、数学的活動を通して創造性の基礎を培うとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識し、それらを積極的に活用する態度を育てる。			
使用教科書	改訂版 新編 数学Ⅲ【数研出版】(104 数研 数Ⅲ/324)			
副 教 材	4プロセス 数学Ⅲ【数研出版】 チャート式 数学Ⅲ【数研出版】			
時 期	学 習 内 容	評 価 規 準		
6月 6/1~ 6/8~ 6/15~ 6/22~ 中間考査		〔関〕:関心・意欲・態度 〔見〕:数学的な見方や考え方 〔技〕:数学的な技能 〔知〕:知識・理解		
7月 6/29~ 7/6~ 7/13~ 7/20~ 期末考査				
8月 8/3~ 8/17~ 8/24~ 8/31~				
9月 9/7~ 9/14~ 9/23~ 9/28~ 中間考査				
10月 10/5~ 10/12~ 10/19~ 10/26~				
11月 11/2~ 11/9~ 11/16~ 11/24~ 期末考査				
12月 12/7~ 12/14~ 12/21~			〈数学Ⅲ〉	◎複素数平面の定義を理解している。〔知〕 ◎極形式の有用性を理解し、乗法と除法の図形的意味を理解し、活用することができる。〔技〕〔知〕 ◎ド・モアブルの定理を利用して、複素数の n 乗を計算することができる。〔知〕
1月 1/7~ 1/12~ 1/18~ 1/25~			第1章 複素数平面	◎複素数平面上の図形に現れる角や辺の長さの比が複素数を用いて考察できる〔見〕〔知〕
2月 2/1~ 2/8~ 2/15~ 2/22~ 学年末考査			第2章 式と曲線 第1節 2次曲線	◎2次曲線を解析幾何学的方法で考察することに意欲的に取り組もうとする。〔関〕 ◎2次曲線の方程式から、概形をかくことができる。〔技〕
3月 3/4~ 3/8~ 3/15~ 3/23~			第2節 媒介変数表示と極座標	◎いろいろな曲線を媒介変数表示で表すことができる。〔知〕〔技〕 ◎直交座標と極座標を理解できる。〔知〕〔技〕
言語活動の充実のための学習活動			日々の授業の中で行う。式の羅列ではなく、筋道と根拠がわかる答案を作ることを目標にする。 発表を中心として、言語活動を充実させる。	
評価方法			各定期考査による成績。 ◎単元ごとの小テストや、定期考査ごとの課題(ノート)等を参考にして評価する。	

数学・数学B [2年]普通科 (3)単位

目 標		数学における基本的な概念や原理・法則の理解を深め、事象を数学的に考察し処理する能力を高め、数学的活動を通して創造性の基礎を培うとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識し、それらを積極的に活用する態度を育てる。	
使用教科書		改訂版 新編 数学A【数研】(104数研/数A329)、改訂版 新編 数学B【数研出版】(104 数研 数B/327)	
副 教 材		4プロセス 数学I+A【数研出版】チャート式 数学I+A【数研出版】 4プロセス 数学II+B【数研出版】チャート式 数学II+B【数研出版】	
時 期		学 習 内 容	評 価 規 準
6月	6/1~	(数学A 第3章 整数の性質) 第1章 平面上のベクトル 第1節 ベクトルとその演算 第2節 ベクトルと平面図形	〔関〕:関心・意欲・態度 〔見〕:数学的な見方や考え方 〔技〕:数学的な技能 〔知〕:知識・理解 ◎学習したことを身近な事象に当てはめたり、より深く数学的に考察することができる。〔関〕〔見〕
	6/8~ 6/15~ 6/22~ 中間考査		
7月	6/29~	第2章 空間のベクトル	◎ユークリッドの互除法を活用して二元一次方程式の整数解を求めることができる。〔技〕 ◎循環小数の数の並びの規則性に気づく。〔見〕 ◎ n 進法の表示や数の計算に関する知識を身につけている。〔知〕 ◎ベクトルの基本的な概念や加法、減法、実数倍の計算の仕組みを理解している。〔知〕 ◎ベクトルの内積のもつ図形的な意味を探ろうとする。〔関〕 ◎ベクトルの内積を求めることができ、実数であることを理解している。〔知〕〔技〕〔見〕 ◎図形上の頂点に関する位置ベクトルを定めて図形を考察できる。〔技〕 ◎位置ベクトルを使って図形を考察できる。〔見〕 ◎直線や円のベクトル方程式を理解している。〔知〕
	7/6~ 7/13~ 7/20~ 期末考査		
	8月		
8/17~ 8/24~ 8/31~			
9月	9/7~	第3節 漸化式と数学的帰納法	◎数列の定義、表記、用語、記号について理解し、適切に用いることができる。〔知〕〔技〕 ◎数の並び方に興味をもち、その規則性を発見しようとする意欲がある。〔見〕〔関〕 ◎等差数列の一般項とその和を求めることができる。〔技〕〔知〕 ◎等比数列の一般項とその和を求めることができる。〔技〕〔知〕
	9/14~ 9/23~ 9/28~ 中間考査		
10月	10/5~	第2節 いろいろな数列	◎空間における図形を図や座標を利用して示すことができる。〔技〕 ◎空間のベクトルを平面上のベクトルの拡張としてとらえることができる。〔見〕 ◎成分表示されたベクトルについて内積を計算できる。〔知〕 ◎内積を利用して、空間図形の性質を証明できる。〔知〕
	10/12~ 10/19~ 10/26~		
11月	11/2~	第3節 漸化式と数学的帰納法	◎数列の定義、表記、用語、記号について理解し、適切に用いることができる。〔知〕〔技〕 ◎数の並び方に興味をもち、その規則性を発見しようとする意欲がある。〔見〕〔関〕 ◎等差数列の一般項とその和を求めることができる。〔技〕〔知〕 ◎等比数列の一般項とその和を求めることができる。〔技〕〔知〕
	11/9~ 11/16~ 11/24~ 期末考査		
12月	12/7~	〈数学I・A・II・Bの問題演習〉	◎記号 Σ の意味と性質を理解し、数列の和が求められる。〔技〕〔知〕 ◎数列の和を記号 Σ で表して、和の計算を簡単に行うことができる。〔見〕 ◎数列の規則性の発見に階差数列が利用できる。〔見〕 ◎群数列に興味をもち、考察しようとする。〔関〕
	12/14~ 12/21~		
1月	1/7~	〈数学I・A・II・Bの問題演習〉	◎初項と漸化式を用いて数列を定義できることを理解している。〔見〕 ◎おき換えや工夫を要する複雑な漸化式について、考察しようとする。〔関〕 ◎おき換えを利用して、漸化式から一般項を求めることができる。〔技〕 ◎初項と漸化式から数列の一般項が求められる。〔知〕 ◎数学的帰納法を利用して、いろいろな事柄を積極的に証明しようとする。〔関〕
	1/12~ 1/18~ 1/25~		
2月	2/1~	〈数学I・A・II・Bの問題演習〉	◎初項と漸化式を用いて数列を定義できることを理解している。〔見〕 ◎おき換えや工夫を要する複雑な漸化式について、考察しようとする。〔関〕 ◎おき換えを利用して、漸化式から一般項を求めることができる。〔技〕 ◎初項と漸化式から数列の一般項が求められる。〔知〕 ◎数学的帰納法を利用して、いろいろな事柄を積極的に証明しようとする。〔関〕
	2/8~ 2/15~ 2/22~ 学年末考査		
3月	3/4~	〈数学I・A・II・Bの問題演習〉	◎初項と漸化式を用いて数列を定義できることを理解している。〔見〕 ◎おき換えや工夫を要する複雑な漸化式について、考察しようとする。〔関〕 ◎おき換えを利用して、漸化式から一般項を求めることができる。〔技〕 ◎初項と漸化式から数列の一般項が求められる。〔知〕 ◎数学的帰納法を利用して、いろいろな事柄を積極的に証明しようとする。〔関〕
	3/8~		
	3/15~		
	3/23~		
言語活動の充実のための学習活動		日々の授業の中で行う。式の羅列ではなく、筋道と根拠がわかる答案を作ることを目標にする。 発表を中心として、言語活動を充実させる。	
評価方法		各定期考査による成績。 ◎単元ごとの小テストや、定期考査ごとの課題(ノート)等を参考にして評価する。	

理科・物理 [2年]普通科理型 (3)単位

目 標		様々な運動、波、電気に関する基本的な見方や考え方にに基づき、観察・実験などを通して原理・法則を系統的に理解させる。また、さまざまな現象に応用して考察できるようにする。	
使用教科書		数研出版 総合物理1, 数研出版 総合物理2	
副 教 材		数研出版 改訂版 リードα 物理, 数研出版 改訂版 フォトサイエンス物理図録	
時 期		学 習 内 容	評 価 規 準
6月	6/1~ 6/8~ 6/15~ 6/22~ 中間考査	平面内の運動 ・相対速度 ・落体の運動	○平面内の運動についてベクトルを用いて表し説明できる。[思・知] ○水平投射・斜方投射について理解し、式を立てて説明できる。[思・知]
	7月	6/29~ 7/6~ 7/13~ 7/20~ 期末考査	剛体 ・剛体にはたらく力のつりあい ・重心運動量の保存 ・運動量と力積 ・運動量保存則
8月		8/3~ 8/17~ 8/24~	円運動と万有引力 ・等速円運動
	9月	8/31~ 9/7~ 9/14~ 9/23~ 9/28~ 中間考査	・慣性力 ・単振動
10月		10/5~ 10/12~ 10/19~ 10/26~	・万有引力 波 ・波の伝わり方
	11月	11/2~ 11/9~ 11/16~ 11/24~ 期末考査	・音の伝わり方 ・ドップラー効果
12月		12/7~ 12/14~ 12/21~	・光の性質 ・光の干渉と回折
	1月	1/7~ 1/12~ 1/18~ 1/25~	電場 ・静電気力 ・電場 ・電位 ・物質と電場
2月		2/1~ 2/8~ 2/15~ 2/22~ 学年末考査	
	3月	3/4~ 3/8~ 3/15~ 3/23~	・コンデンサー
言語活動の充実のための学習活動		現象について、自分の考えを発表する。観察・実験の結果を予想したり、結果を分析したりして考察を自分の考えで表現する。また、表・グラフ・式・モデルなどを用いて、適切に自分の考えを表現する。	
評価方法	授業に対する取り組みや各定期考査・課題テスト・小テストにおける成績、実験レポートの結果・ノート提出を総合して評価する。		

理科・化学基礎 [2年]普通科文型・普通科英語コース (2)単位

目 標		物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を養う。	
使用教科書		数研出版『改訂版 化学基礎』	
副 教 材		第一学習社『セミナー化学基礎』 実教出版『四訂版サイエンスビュー化学総合資料』	
時 期	学 習 内 容	評 価 規 準	
6月	6/1～ 6/8～ 6/15～ 6/22～ 中間考査	純物質と混合物 実験「赤ワインの蒸留」 物質とその成分, 物質の三態と熱運動 原子とその構造, イオン, 周期表	<ul style="list-style-type: none"> 身近な物質や元素について、観察・実験などを通して探究し、化学的に考察し、表現できている[思考力・判断力・表現力] (2)「物質の構成」 <ul style="list-style-type: none"> 物質の構成粒子について、左記の内容を理解している。 物質と化学結合について観察、実験などを通し左記の内容を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている[知識・技能] 物質の構成について、観察・実験などを通して探究し、物質の構成における規則や関係性を見出して表現できる[思考力・判断力・表現力] (3)「物質の変化とその利用」 <ul style="list-style-type: none"> 物質量と化学反応式、化学反応について左記の内容を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能が身に付いている[知識・技能] 物質の変化とその利用について、観察・実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見出して表現できる[思考力・判断力・表現力]
7月	6/29～ 7/6～ 7/13～ 7/20～ 期末考査	○「粒子の結合」 イオン結合 分子と共有結合, 分子間にはたらく力 共有結合結晶, 金属結合	
8月	8/3～ 8/17～ 8/24～ 8/31～	(3)「物質の変化とその利用」 ○「物質量と化学反応式」 有効数字の取り扱いについて 原子, 分子量と式量, 物質量	
9月	9/7～ 9/14～ 9/23～ 9/28～ 中間考査	化学反応式, 量的関係 溶液の濃度	
10月	10/5～ 10/12～ 10/19～ 10/26～	実験「化学反応の量的関係」 ○「酸と塩基の反応」 酸・塩基, 水の電離と水溶液のpH	
11月	11/2～ 11/9～ 11/16～ 11/24～ 期末考査	実験「紫キャベツでpH指示薬を作る」	
12月	12/7～ 12/14～ 12/21～	中和反応と量的関係、 塩の性質 実験「食酢中の酢酸濃度を求める」 実験「中和滴定曲線を書く」	
1月	1/7～ 1/12～ 1/18～	○ 酸化還元反応	
2月	1/25～ 2/1～ 2/8～ 2/15～ 2/22～	酸化と還元、 酸化数 酸化剤と還元剤の働き 量的関係 実験「酸化還元反応」	
3月	学年末考査 3/4～ 3/8～ 3/15～ 3/23～	金属のイオン化傾向 電池(ダニエル, 鉛蓄電池, 燃料電池) 電気分解	
言語活動の充実のための学習活動	年間を通して「探究の過程」を意識した探究活動を行い、それぞれの過程で自分の考えを文字や言葉で表現・発表する機会を設ける。		
評価方法	定期考査・小テストにおける成績、実験レポート・課題提出等を総合して評価する。		

理科・化学基礎 [2年]普通科理型 (2)単位

目 標		化学的な事象・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しを持って観察、実験を行うことなどを通して、化学的な事象・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を身に付ける。	
使用教科書		数研出版 『改訂版 化学基礎』 『改訂版 化学』	
副 教 材		第一学習社 『セミナー化学基礎+化学』	実教出版 『四訂版サイエンスビューー化学総合資料』
時 期		学 習 内 容	評 価 規 準
6月	6/1~	第1章 「物質の構成」	「物質の構成」 ・ 物質の構成粒子について、左記の内容を理解、物質と化学結合について観察、実験などを通し内容を理解する。[知識・理解] ・ 観察、実験などに関する技能を身に付けている[知識・技能] ・ 物質の構成について、観察・実験などを通して探究し、物質の構成における規則や関係性を見出し表現できる[思考力・判断力・表現力]
	6/8~	第2章 「物質の構成粒子」	
6月	6/15~	第3章 「粒子の結合」	「物質の構成」 ・ 物質の構成粒子について、左記の内容を理解、物質と化学結合について観察、実験などを通し内容を理解する。[知識・理解] ・ 観察、実験などに関する技能を身に付けている[知識・技能] ・ 物質の構成について、観察・実験などを通して探究し、物質の構成における規則や関係性を見出し表現できる[思考力・判断力・表現力]
	6/22~	1 イオン結合 2 分子と共有結合	
6月	中間考査	3 分子間力 4 共有結合結晶	「物質の構成」 ・ 物質の構成粒子について、左記の内容を理解、物質と化学結合について観察、実験などを通し内容を理解する。[知識・理解] ・ 観察、実験などに関する技能を身に付けている[知識・技能] ・ 物質の構成について、観察・実験などを通して探究し、物質の構成における規則や関係性を見出し表現できる[思考力・判断力・表現力]
		5 金属結合	
7月	6/29~	第1章 「物質量と化学反応式」	「物質量と化学反応式」 ・ 物質量と化学反応式、化学反応について内容を理解するとともに、それらの観察、実験に関する技能が身に付いている[知識・技能] ・ 物質の変化とその利用について、観察・実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見出して表現できる[思考力・判断力・表現力]
	7/6~	1 原子量・分子量・式量	
7月	7/13~	2 物質量	「物質量と化学反応式」 ・ 物質量と化学反応式、化学反応について内容を理解するとともに、それらの観察、実験に関する技能が身に付いている[知識・技能] ・ 物質の変化とその利用について、観察・実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見出して表現できる[思考力・判断力・表現力]
	7/20~	3 化学反応式、量的関係 溶液の濃度	
7月	期末考査		「物質量と化学反応式」 ・ 物質量と化学反応式、化学反応について内容を理解するとともに、それらの観察、実験に関する技能が身に付いている[知識・技能] ・ 物質の変化とその利用について、観察・実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見出して表現できる[思考力・判断力・表現力]
8月	8/3~	第2章 「酸と塩基の反応」	「酸と塩基の反応」 ・ アルキル・アミンの酸・塩基の定義、分類を理解し、pHの指標の便利さと実用性を考えさせる。 [関心・意欲・態度] ・ 中和反応と塩の性質を理解し、中和滴定の実験を通して中和反応の定量的な扱いができる。 [技能] ・ 電子の授受や酸化数の変化から酸化還元反応を分類できる。 [思考・判断] ・ 酸化還元反応の量的計算ができる。 [知識・理解]
	8/17~	1 酸・塩基	
8月	8/24~	2 水の電離と水溶液のpH	「酸と塩基の反応」 ・ アルキル・アミンの酸・塩基の定義、分類を理解し、pHの指標の便利さと実用性を考えさせる。 [関心・意欲・態度] ・ 中和反応と塩の性質を理解し、中和滴定の実験を通して中和反応の定量的な扱いができる。 [技能] ・ 電子の授受や酸化数の変化から酸化還元反応を分類できる。 [思考・判断] ・ 酸化還元反応の量的計算ができる。 [知識・理解]
	8/31~	3 中和反応	
8月	9/7~	4 塩の性質	「酸と塩基の反応」 ・ アルキル・アミンの酸・塩基の定義、分類を理解し、pHの指標の便利さと実用性を考えさせる。 [関心・意欲・態度] ・ 中和反応と塩の性質を理解し、中和滴定の実験を通して中和反応の定量的な扱いができる。 [技能] ・ 電子の授受や酸化数の変化から酸化還元反応を分類できる。 [思考・判断] ・ 酸化還元反応の量的計算ができる。 [知識・理解]
	9/14~	実験「食酢中の酢酸濃度を求める」	
9月	9/23~	第3章 「酸化還元反応」	「酸と塩基の反応」 ・ アルキル・アミンの酸・塩基の定義、分類を理解し、pHの指標の便利さと実用性を考えさせる。 [関心・意欲・態度] ・ 中和反応と塩の性質を理解し、中和滴定の実験を通して中和反応の定量的な扱いができる。 [技能] ・ 電子の授受や酸化数の変化から酸化還元反応を分類できる。 [思考・判断] ・ 酸化還元反応の量的計算ができる。 [知識・理解]
	9/28~	1 酸化と還元 2 酸化剤と還元剤	
9月	中間考査	3 金属の酸化還元反応 4 酸化還元反応の利用	「酸と塩基の反応」 ・ アルキル・アミンの酸・塩基の定義、分類を理解し、pHの指標の便利さと実用性を考えさせる。 [関心・意欲・態度] ・ 中和反応と塩の性質を理解し、中和滴定の実験を通して中和反応の定量的な扱いができる。 [技能] ・ 電子の授受や酸化数の変化から酸化還元反応を分類できる。 [思考・判断] ・ 酸化還元反応の量的計算ができる。 [知識・理解]
		実験「酸化還元反応」	
10月	10/5~	前期に週4時間で開講 後期は開講しない	「酸と塩基の反応」 ・ アルキル・アミンの酸・塩基の定義、分類を理解し、pHの指標の便利さと実用性を考えさせる。 [関心・意欲・態度] ・ 中和反応と塩の性質を理解し、中和滴定の実験を通して中和反応の定量的な扱いができる。 [技能] ・ 電子の授受や酸化数の変化から酸化還元反応を分類できる。 [思考・判断] ・ 酸化還元反応の量的計算ができる。 [知識・理解]
	10/12~		
10月	10/19~		「酸と塩基の反応」 ・ アルキル・アミンの酸・塩基の定義、分類を理解し、pHの指標の便利さと実用性を考えさせる。 [関心・意欲・態度] ・ 中和反応と塩の性質を理解し、中和滴定の実験を通して中和反応の定量的な扱いができる。 [技能] ・ 電子の授受や酸化数の変化から酸化還元反応を分類できる。 [思考・判断] ・ 酸化還元反応の量的計算ができる。 [知識・理解]
	10/26~		
10月	11/2~		「酸と塩基の反応」 ・ アルキル・アミンの酸・塩基の定義、分類を理解し、pHの指標の便利さと実用性を考えさせる。 [関心・意欲・態度] ・ 中和反応と塩の性質を理解し、中和滴定の実験を通して中和反応の定量的な扱いができる。 [技能] ・ 電子の授受や酸化数の変化から酸化還元反応を分類できる。 [思考・判断] ・ 酸化還元反応の量的計算ができる。 [知識・理解]
	11/9~		
10月	11/16~		「酸と塩基の反応」 ・ アルキル・アミンの酸・塩基の定義、分類を理解し、pHの指標の便利さと実用性を考えさせる。 [関心・意欲・態度] ・ 中和反応と塩の性質を理解し、中和滴定の実験を通して中和反応の定量的な扱いができる。 [技能] ・ 電子の授受や酸化数の変化から酸化還元反応を分類できる。 [思考・判断] ・ 酸化還元反応の量的計算ができる。 [知識・理解]
	11/24~		
10月	期末考査		「酸と塩基の反応」 ・ アルキル・アミンの酸・塩基の定義、分類を理解し、pHの指標の便利さと実用性を考えさせる。 [関心・意欲・態度] ・ 中和反応と塩の性質を理解し、中和滴定の実験を通して中和反応の定量的な扱いができる。 [技能] ・ 電子の授受や酸化数の変化から酸化還元反応を分類できる。 [思考・判断] ・ 酸化還元反応の量的計算ができる。 [知識・理解]
12月	12/7~		「酸と塩基の反応」 ・ アルキル・アミンの酸・塩基の定義、分類を理解し、pHの指標の便利さと実用性を考えさせる。 [関心・意欲・態度] ・ 中和反応と塩の性質を理解し、中和滴定の実験を通して中和反応の定量的な扱いができる。 [技能] ・ 電子の授受や酸化数の変化から酸化還元反応を分類できる。 [思考・判断] ・ 酸化還元反応の量的計算ができる。 [知識・理解]
	12/14~		
12月	12/21~		「酸と塩基の反応」 ・ アルキル・アミンの酸・塩基の定義、分類を理解し、pHの指標の便利さと実用性を考えさせる。 [関心・意欲・態度] ・ 中和反応と塩の性質を理解し、中和滴定の実験を通して中和反応の定量的な扱いができる。 [技能] ・ 電子の授受や酸化数の変化から酸化還元反応を分類できる。 [思考・判断] ・ 酸化還元反応の量的計算ができる。 [知識・理解]
	1/7~		
12月	1/12~		「酸と塩基の反応」 ・ アルキル・アミンの酸・塩基の定義、分類を理解し、pHの指標の便利さと実用性を考えさせる。 [関心・意欲・態度] ・ 中和反応と塩の性質を理解し、中和滴定の実験を通して中和反応の定量的な扱いができる。 [技能] ・ 電子の授受や酸化数の変化から酸化還元反応を分類できる。 [思考・判断] ・ 酸化還元反応の量的計算ができる。 [知識・理解]
	1/18~		
12月	1/25~		「酸と塩基の反応」 ・ アルキル・アミンの酸・塩基の定義、分類を理解し、pHの指標の便利さと実用性を考えさせる。 [関心・意欲・態度] ・ 中和反応と塩の性質を理解し、中和滴定の実験を通して中和反応の定量的な扱いができる。 [技能] ・ 電子の授受や酸化数の変化から酸化還元反応を分類できる。 [思考・判断] ・ 酸化還元反応の量的計算ができる。 [知識・理解]
	2/1~		
12月	2/8~		「酸と塩基の反応」 ・ アルキル・アミンの酸・塩基の定義、分類を理解し、pHの指標の便利さと実用性を考えさせる。 [関心・意欲・態度] ・ 中和反応と塩の性質を理解し、中和滴定の実験を通して中和反応の定量的な扱いができる。 [技能] ・ 電子の授受や酸化数の変化から酸化還元反応を分類できる。 [思考・判断] ・ 酸化還元反応の量的計算ができる。 [知識・理解]
	2/15~		
12月	2/22~		「酸と塩基の反応」 ・ アルキル・アミンの酸・塩基の定義、分類を理解し、pHの指標の便利さと実用性を考えさせる。 [関心・意欲・態度] ・ 中和反応と塩の性質を理解し、中和滴定の実験を通して中和反応の定量的な扱いができる。 [技能] ・ 電子の授受や酸化数の変化から酸化還元反応を分類できる。 [思考・判断] ・ 酸化還元反応の量的計算ができる。 [知識・理解]
	学年末考査		
12月	3/4~		「酸と塩基の反応」 ・ アルキル・アミンの酸・塩基の定義、分類を理解し、pHの指標の便利さと実用性を考えさせる。 [関心・意欲・態度] ・ 中和反応と塩の性質を理解し、中和滴定の実験を通して中和反応の定量的な扱いができる。 [技能] ・ 電子の授受や酸化数の変化から酸化還元反応を分類できる。 [思考・判断] ・ 酸化還元反応の量的計算ができる。 [知識・理解]
	3/8~		
12月	3/15~		「酸と塩基の反応」 ・ アルキル・アミンの酸・塩基の定義、分類を理解し、pHの指標の便利さと実用性を考えさせる。 [関心・意欲・態度] ・ 中和反応と塩の性質を理解し、中和滴定の実験を通して中和反応の定量的な扱いができる。 [技能] ・ 電子の授受や酸化数の変化から酸化還元反応を分類できる。 [思考・判断] ・ 酸化還元反応の量的計算ができる。 [知識・理解]
	3/23~		
言語活動の充実のための学習活動		年間を通して「探究の過程」を意識した探究活動を行い、それぞれの過程で自分の考えを文字や言葉で表現・発表する機会を設ける。	
評価方法		定期考査・小テストにおける成績、実験レポート・課題提出等を総合して評価する。	

理科・化学 [2年]普通科理型 (2)単位

目 標		化学的な事象・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しを持って観察、実験を行うことなどを通して、化学的な事象・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を身に付ける。			
使用教科書		数研出版『改訂版 化学』			
副 教 材		第一学習社『セミナー化学基礎+化学』 実教出版『四訂版 サイエンスビュー化学総合資料』			
時 期		学 習 内 容	評 価 規 準		
6月	6/1~	後期に週4時間で開講する			
	6/8~				
	6/15~				
	6/22~				
	6/29~				
中間考査					
7月	6/29~				
	7/6~				
	7/13~				
	7/20~				
期末考査					
8月	8/3~				
	8/17~				
	8/24~				
	8/31~				
	9/7~				
9月	9/14~				
	9/23~				
	中間考査				
	10/5~			第2章	<ul style="list-style-type: none"> 二次電池の放電と充電について理解している。水溶液を電気分解したときに起こる反応を、電解質と電極から判断できる。[思考・判断・知識・理解] 結晶の性質に興味を持ち、結晶格子の立体構造を理解し、結晶格子の、配位数、単位格子中の原子の数なども算出することができる。[関心・意欲・思考・判断・理解・技能] 物質の状態図を理解し、水の特徴に気づく。蒸気圧曲線を使って、沸点を求めることができる。[関心・思考・判断・理解] 気体の体積、圧力、温度、物質量の関係に興味をもっている。気体の状態方程式を使って、実験により分子量を求めることができる。[興味・思考・判断・技能・知識・理解] 固体の溶解度、気体の溶解度(ヘンリーの法則)について理解し、それに関連する問題を解くことができる。質量パーセント濃度、モル濃度、質量モル濃度といった濃度の表し方を理解している。[興味・思考・判断・技能・知識・理解] 熱化学方程式の書き方と意味を理解している。ヘスの法則を使って、不明な反応熱を求めることができる。結合エネルギーと反応熱の関係を理解している。[思考・判断・知識・理解]
10/12~	1 電池				
10/19~	2 電気分解				
10/26~	第1章 「粒子の結合と結晶」				
11/2~	1 粒子の結合と結晶				
11/9~	実習「金属の単位格子モデルを作る」				
11/16~	第2章 「物質の状態変化」				
11/24~	1 気液平衡と蒸気圧				
期末考査					
12月	12/7~	第3章 「気体」			
	12/14~	1 気体の体積			
	12/21~	2 気体の状態方程式第4章 「溶液」			
	1/7~	第4章			
1月	1/12~	1 溶解の仕組み			
	1/18~	2 溶解度			
	1/25~	3 希薄溶液の性質			
2月	2/1~	4 コロイド溶液 実験「コロイド溶液の性質」			
	2/8~	第1章 「化学反応とエネルギー」			
	2/15~	1 化学反応と熱			
学年末考査					
3月	2/22~	2 化学反応と光	<ul style="list-style-type: none"> 反応速度と濃度、温度、触媒の関係を理解している。[知・理] 化学平衡の概念が身についている。[知識・理解] 		
	3/4~	第2章 化学反応の早さとしくみ			
	3/8~	1 化学反応の速さ			
	3/15~				
3/23~					
言語活動の充実のための学習活動		年間を通して「探究の過程」を意識した探究活動を行い、それぞれの過程で自分の考えを文字や言葉で表現・発表する機会を設ける。			
評価方法		定期考査・小テストにおける成績、実験レポート・課題提出等を総合して評価する。			

理科・生物 [2年]普通科理型 (3)単位

目 標		近年の生物学に関する知識を身につけると共に、科学的・論理的な思考力を養う。また、実験を通して自分で操作すること、提出物をきちんと出すことなどを習慣づける。	
使用教科書		数研出版「生物」	
副 教 材		第一学習社「七訂版 スクエア 最新図説生物 neo」	数研出版「リード α生物基礎+生物」
時 期	学 習 内 容		評 価 規 準
6月	6/1~	第1章 細胞と分子 1. さまざまなタンパク質の働き 第2章 代謝 1. 代謝とエネルギー 2. 呼吸	○生命の起源の探究学習を通じて科学的なものの考え方を理解する。(関・思・知) ○アミノ酸の基本構造、タンパク質の分子構造、性質を理解する。(関・思・知) ○酵素の特性、機能の調節機構について理解する。(関・思・技・知) ○細胞内における構造を維持するタンパク質の働きを理解する。(関・思・知) ○代謝においてATPの役割やエネルギーの概念を理解する。(関・思・知) ○アルコール発酵やデヒドロゲナーゼによる実験を通じ、呼吸と発酵のしくみを理解する。(関・思・技・知)
	6/8~		
	6/15~		
	6/22~		
	6/29~		
	中間考査		
7月	6/29~	3. 光合成 4. 窒素同化	○光合成色素の分離の実験を通じ、光の波長と光合成色素の関係を理解する。(関・思・技・知) ○光合成の詳細なしくみを理解する。(関・思・知) ○窒素同化についてその詳細な経路を理解する。(関・思・知)
	7/6~		
	7/13~		
	7/20~		
	期末考査		
8月	8/3~	第3章 遺伝情報の発現 1. 遺伝情報とその発現 2. 遺伝子の発現調節 3. バイオテクノロジー	○DNAの構造や複製のしくみ、岡崎フラグメントを理解する。(関・思・知) ○遺伝子が発現するときの経路とゲノムの多様性を理解する。(関・思・知) ○遺伝子発現が転写レベルで行われていることを理解する。(関・思・知) ○遺伝子を用いたバイオテクノロジーの原理を理解する。(関・思・知)
	8/17~		
	8/24~		
	8/31~		
9月	9/7~		
	9/14~		
	9/23~		
	9/28~		
	中間考査		
10月	10/5~	第4章 生殖と発生 1. 遺伝子と染色体 2. 減数分裂と遺伝情報の分配 3. 遺伝子の多様な組み合わせ	○遺伝子と染色体の関係を理解する。(関・思・知) ○減数分裂を正しく理解し、染色体の乗り換えについて知る。(関・思・知) ○染色体の連鎖、組換えと配偶子の種類、組み合わせの関係を理解する。(関・思・知)
	10/12~		
	10/19~		
	10/26~		
11月	11/2~	4. 動物の配偶子形成と受精	○動物の配偶子形成から受精に至るまでの過程を理解する。(関・思・知)
	11/9~		
	11/16~		
	11/24~		
	期末考査		
12月	12/7~	5. 初期発生過程 6. 細胞の分化と形態形成	○卵卵の特徴やウニ・カエルの初期発生の過程を理解し、三胚葉の分化を理解する。(関・思・技・知) ○細胞が分化と形態形成の仕組みについて理解する。(関・思・知)
	12/14~		
	12/21~		
	1/7~		
1月	1/7~	7. 植物の配偶子形成と発生	○被子植物の配偶子形成から重複受精までの過程を理解する。(関・思・知) ○ABCモデルを理解する。(関・思・知)
	1/12~		
	1/18~		
	1/25~		
2月	2/1~		
	2/8~		
	2/15~		
	2/22~		
	学年末考査		
3月	3/4~	生物1年間の復習	○2年生の生物の分野をしっかりと理解している。(関・思・知)
	3/8~		
	3/15~		
	3/23~		
言語活動の充実のための学習活動		授業中や実験中に結果を予想したり、結果を分析して考察を自分の考えで表現するために発表をする。また、表・グラフ・式などを用いて、適切に自分の考えを表現する。	
評価方法		各定期考査・課題テスト・小テストにおける成績や取り組み、実験レポート等を総合して評価する。	

理科・地学基礎 [2年]普通科文型・普通科英語コース (2)単位

目 標	自然界における様々な事象の因果関係を正しく理解させながら、地球と宇宙の全体像、およびその歴史を把握させ、自然を総合的に見る視点を養う。また、人間と自然の関わりについて幅広く考察することができる能力をつけさせる。	
使用教科書	地学基礎(実教出版)	
副 教 材	最新地学図表(浜島書店)、ベストフィット地学基礎(実教出版)	
時 期	学 習 内 容	評 価 規 準
6月 6/1~ 6/8~ 6/15~ 6/22~ 中間考査	第1章 1. 地球の形と大きさ 実習: 地球の大きさ 2. 地球内部の構成 実習: 岩石の鑑定 実習: 岩石の観察 理科科野外実習1(6/11 木 6~7 限) 米原高校周 3. プレーートの運動 大地形の形成	地形図を用いて地球の大きさを測定できる【思考・技能】 地球の形、大きさ、構造について理解できる【知識】 火成岩・堆積岩・変成岩の特徴を調べ、理解できる【思考・知識・技能】 造岩鉱物の特徴を調べ、理解できる【思考・知識・技能】 プレート運動、地殻変動(火山活動、地震、造山運動)の起こるメカニズムについて理解できる【思考・知識】
7月 6/29~ 7/6~ 7/13~ 7/20~ 期末考査	4. 火山と地震 実習: 地震の震源を求める 実習: 地震災害 第2章 1. 地表の変化 実習: いろいろな地形の観察	マグマの性質の違いにより火山活動が異なることを理解する↓ 地震波の特徴について理解し、震源の位置や方向を求める 地震災害の起こる原因について調べ、理解する【思考・技能・知識】 流水の働きと地形について理解する【知識】
8月 8/3~ 8/17~ 8/24~ 8/31~	第2章 2. 地層と化石 実習: 化石の観察 実習: 地層の重なり方と地層中の構造 3. 古生物の変遷と地球環境	様々な化石の特徴をつかみ、環境を推定できる【思考】【技能・知識】 地層中の堆積構造から堆積環境を推定する。また、地層の重なりから地層の新旧などを考察する【技能・思考・知識】 地球環境の変遷・生物の進化を年表にまとめ、理解できる【技能】
9月 9/7~ 9/14~ 9/23~ 9/28~ 中間考査	第3章 1. 大気と運動 実習: 大気圧の大きさを調べる 実習: 雲や雨のつき方を調べる	大気圏の構造と各圏の特徴、大気圧の大きさについて理解する 地球の熱収支の量的関係を理解する【知識・思考】 大気の運動(風)の起こるメカニズムを理解する。【思考、知識】
10月 10/5~ 10/12~ 10/19~ 10/26~	2. 大気の大循環 ①大気の運動 ②日本の四季の気圧配置と天気の特徴 3. 海洋の構造と海水の循環	大気の大循環と各地方の気候の関係を理解する【 " 】 四季の気圧配置を理解し、風や天気の特徴を考察できる【 " 】 季節による海水の構造の違う原因を理解する【技能、思考、知識】
11月 11/2~ 11/9~ 11/16~ 11/24~ 期末考査	①海水の構造 ②海水の運動 実習: 海水の運動と構造を調べる 第4章 1. 太陽系の中の地球 実習: 流星の観察、惑星の観察	世界の海流や鉛直循環の特徴を知り、その原因を考察できる↓ 【思考、知識】 太陽系の天体の形成過程と惑星や衛星の特徴の関係を理解する↓ 流星塵の観察を通して顕微鏡の使い方を理解する【技能】 【知識】
12月 12/7~ 12/14~ 12/21~	2. 太陽とその進化 実習: 太陽観測、太陽の光の観察 実習: 太陽エネルギー量の測定 実習: HR図・恒星の進化	天体望遠鏡を使い、太陽表面の観察ができる。【技能】 ↓【知識】 簡易日射計を用いて太陽放射エネルギー量を測定することができると共に、太陽定数との違いについて考察できる。【技能、思考】 ↓【知識】 太陽の構造や活動の特徴を理解するとともに、地球への影響を知る
1月 1/7~ 1/12~ 1/18~	3. 宇宙のすがた 実習: 宇宙の膨張モデル	太陽のスペクトル観察から、太陽の大気組成や表面温度を推定する HR図を作成し、恒星をグループ分けできる【思考・知識】↑【技能・思考】
2月 1/25~ 2/1~ 2/8~ 2/15~ 2/22~		太陽やいろいろな恒星の進化の過程を理解できる【知識】 銀河系の構造、宇宙の構造を理解する。また、銀河の後退から宇宙の膨張を理解するとともに、宇宙の歴史(宇宙の誕生~現在~未来)について理解する【知識】
3月 学年末考査 3/4~ 3/8~ 3/15~ 3/23~	第5章 1. 日本の自然環境 2. 地球環境の科学	身近な自然災害について、その原因を理解し、対策について考察できる【知識、思考】 身近な環境問題の現状について理解し、今後の対策について考察することができる。【知識、思考】
言語活動の充実のための学習活動	上記のような実習(観察)を含め、各単元で実習を行い、その際にレポートなどを提出させる。	
評価方法	各定期考査の成績、小テストの成績、実習レポートの成績などを総合して評価する。(【意欲・関心・態度】については、毎時間の授業、およびテストなどで評価する。【技能】については、実験や実習がきちんとできるか、レポートはかけるかなどを評価する。【思考・知識・理解】については、平常の授業やテストなどで学習したことが理解できているかを確認する。)	

保健体育・体育 [2年]普通科男子・理数科男子 (2)単位

目 標		運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、事故の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。	
使用教科書		現代保健体育・体育編(大修館書店)	
副 教 材		ステップアップ高校スポーツ2019	
時 期		学 習 内 容	評 価 規 準
6月	6/1～	選択① 剣道・器械運動(マット運動)	<p>体育理論</p> <p>関: 合理的な動きを理解し、練習を身につけ、必要な体力を高めるトレーニング方法に関心を持ち、生涯にわたってスポーツに関わり進んで学習に取り組んでいる。</p> <p>思: 合理的な動きを理解し、練習の具体的な方法を身につけ、必要な体力を高めるトレーニング方法を考え、生涯スポーツへの関わり方について自分の考えを整理している。</p>
	6/8～ 6/15～ 6/22～ 中間考査		
7月	6/29～	選択② (卓球・バスケットボール・ソフトボール・剣道)	<p>知: 合理的な動きを理解し、練習を身につけ、必要な体力を高めるトレーニング方法、生涯にわたってスポーツとどのように関わっていけばよいかについて具体例を挙げている。</p> <p>体づくり運動</p> <p>関: 自らが進んで体力を高めようとする。</p> <p>思: 体力を高める運動の中から、自分の体力や生活の実状を踏まえて、目的にあった運動を選び、構成し活用している。</p>
	7/6～ 7/13～ 7/20～ 期末考査		
8月	8/3～	体育理論①②③ 選択② (卓球・バスケットボール・ソフトボール・剣道)	<p>選択①・④</p> <p>武道</p> <p>関: 自分の能力に応じた技を習得する喜びや相手に応じた攻防を展開し剣道の楽しさを味わおうするとともに、礼儀作法を重視している。</p> <p>思: 得意技を身に付けるために課題をもっている。</p> <p>技: 身につけた得意技を練習や試合で使うことができる。</p> <p>知: 剣道の伝統的な考え方、特性、技の系統性、基本動作や対人技能の構造を知っている。</p> <p>陸上競技</p> <p>技: 体力を高める運動を身に付けたり、合理的に体力を高めたりすることができる。</p> <p>知: 体力を高める運動の意義と高め方を知っている。</p> <p>関: 全力を出して競争したり、記録を向上させたりする陸上競技の楽しさや喜びを味わう。</p> <p>器械運動</p> <p>思: 自分の能力に適した技を選び、課題をもっている。</p> <p>技: ある程度できる技は、同じ技を繰り返したり、条件を変えたりしてできる。</p> <p>知: 楽しみ方や学習の進め方、個々の技の技術構造、技の系統性や発展性を知っている。</p> <p>関: 作技がよりよくなり、自分に適した技を習得したりの楽しさや喜びを味わう。</p>
	8/17～ 8/24～ 8/31～		
9月	9/7～		
	9/14～ 9/23～ 9/28～ 中間考査		
10月	10/5～	選択③ (陸上競技(投)・バレー・サッカー)	
	10/12～ 10/19～ 10/26～		
11月	11/2～		
	11/9～ 11/16～ 11/24～ 期末考査		
12月	12/7～	体育理論④ 選択④ 陸上競技(走)・器械運動(マット運動)	<p>選択②・③</p> <p>球技</p> <p>思: 自分の能力に適した目標記録や課題を設定している。</p> <p>技: 自分の能力に適した技能のポイントをつかみ、技能を高める。</p> <p>知: 学習の進め方及び自分の能力に適した課題の選び方、及びそれに合わせた練習や競技の仕方を理解し、知識を身に付けている。</p> <p>関: 作戦を立てたり、ルールを工夫したりして勝敗を競い合う競技の楽しさや喜びを味わう。</p> <p>陸上競技</p> <p>技: 体力を高める運動を身に付けたり、合理的に体力を高めたりすることができる。</p> <p>知: 体力を高める運動の意義と高め方を知っている。</p> <p>関: 全力を出して競争したり、記録を向上させたりする陸上競技の楽しさや喜びを味わう。</p>
	12/14～ 12/21～		
1月	1/7～		
	1/12～ 1/18～ 1/25～		
2月	2/1～		
	2/8～ 2/15～ 2/22～ 学年末考査		
3月	3/4～	体育理論⑤⑥	
	3/8～ 3/15～ 3/23～		
言語活動の充実のための学習活動		<p>・体を動かす活動を通して、コミュニケーションや感性・情緒に関する学習活動及び知的活動を充実する。</p> <p>・各運動場面で、体を動かす機会を適切に確保した上で、相手や仲間のよい演技に賞賛を送る、互いのよい演技を認め合う、互いに教え合うなどのコミュニケーションを図る学習活動を充実する。</p>	
評価方法		運動の技能、関心・意欲・態度や思考・判断及び知識・理解を総合して評価する。	

保健体育・体育 [2年]普通科女子・理数科女子 (2)単位

目 標		運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、事故の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。	
使用教科書		現代保健体育・体育編(大修館書店)	
副 教 材		ステップアップ高校スポーツ2019	
時 期		学 習 内 容	評 価 規 準
6月	6/1~ 6/8~ 6/15~ 6/22~ 中間考査	選択① 陸上競技(走・投)・ダンス	体育理論 関:合理的な動きを理解し、練習の方法を身につけ、必要な体力を高めるトレーニング方法に関心を持ち、生涯にわたってスポーツに関われるよう進んで学習に取り組んでいる。 思:合理的な動きを理解し、練習の具体的な方法を身につけ、必要な体力を高めるトレーニング方法を考え、生涯スポーツへ自分の考えを整理している。
	7月	6/29~ 7/6~ 7/13~ 7/20~ 期末考査	選択② (バドミントン・バスケットボール・サッカー・ダンス)
8月		8/3~ 8/17~ 8/24~ 8/31~	体育理論①②③ 選択② (バドミントン・バスケットボール・サッカー・ダンス)
	9月	9/7~ 9/14~ 9/23~ 9/28~ 中間考査	陸上競技
10月		10/5~ 10/12~ 10/19~ 10/26~	選択③ (バドミントン・バレー・ソフトボール)
	11月	11/2~ 11/9~ 11/16~ 11/24~ 期末考査	
12月		12/7~ 12/14~ 12/21~	体育理論④ 選択④
	1月	1/7~ 1/12~ 1/18~ 1/25~	陸上競技(走)・器械運動(跳び箱・マット運動)
2月		2/1~ 2/8~ 2/15~ 2/22~ 学年末考査	
	3月	3/4~ 3/8~ 3/15~ 3/23~	体育理論⑤⑥
言語活動の充実のための学習活動		・体を動かす活動を通して、コミュニケーションや感性・情緒に関する学習活動及び知的活動を充実する。 ・各運動場面で、体を動かす機会を適切に確保した上で、相手や仲間のよい演技に賞賛を送る、互いのよい演技を認め合う、互いに教え合うなどのコミュニケーションを図る学習活動を充実する。	
評価方法		運動の技能、関心・意欲・態度や思考・判断及び知識・理解を総合して評価する。	

保健体育・保健 [2年]普通科・理数科 (1)単位

目標	個人および社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる。	
使用教科書	現代高等保健体育(大修館書店)	
副教材	図説 現代高等保健体育(大修館書店)	
時期	学習内容	評価規準
6月 6/1~ 6/8~ 6/15~ 6/22~ 中間考査	1 思春期と健康 2 性意識と性行動の選択 3 結婚生活と健康 4 妊娠・出産と健康 5 家族計画と人工妊娠中絶 6 加齢と健康	思春期、結婚生活における健康問題や適切な意志決定と行動選択、加齢による心身の変化など、生涯の各段階の健康課題に応じた健康管理の必要性について学ぶ。 関意態: 仲間と意見を交換したり、発表したりしようとしている。 思判 : 仲間との意見交換をもとに、課題の解決方法を考えたり、日常生活にあてはめたりして、選択すべき行動を判断している。 知理 : 学習した内容を、言ったり書きだしたりしている。
7月 6/29~ 7/6~ 7/13~ 7/20~ 期末考査	7 高齢者のための社会的取り組み 8 保健制度とその活用 9 医療制度とその活用	我が国の保健・医療制度や機関と地域の保健所、保健センター、医療機関の活用について学ぶ。 関: 仲間と意見を交換したり発表したりしようとしている。 思: 自分の経験や仲間との意見交換をもとに、課題の解決方法を考え、日常生活にあてはめたりして、選択すべき行動を判断している。 知: 学習した内容を言ったり書きだしたりしている。
8月 8/3~ 8/17~ 8/24~	10 医薬品と健康 11 様々な保健活動や対策	人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすこともあること、そのための対策が取られていることについて学ぶ。 関: 仲間と意見交換したり、発表したりしようとしている。
9月 8/31~ 9/7~ 9/14~ 9/23~ 9/28~	1 大気汚染と健康 2 水質汚濁・土壌汚染と健康 3 健康被害の防止と環境対策	思: 自分の経験や仲間との意見交換をもとに、課題の解決方法を考え、日常生活にあてはめたりして選択すべき行動を判断している。 知: 学習した内容を言ったり書きだしたりしている。
10月 10/5~ 10/12~ 10/19~	4 環境衛生活動のしくみと働き 5 食品衛生活動のしくみと働き	学校や地域の環境を健康に適したものにするため基準が設定され、環境衛生活動が行われていること、食品の安全性を確保するための基準が設定され、食品衛生活動が行われていることについて学ぶ。
11月 10/26~ 11/2~ 11/9~ 11/16~ 11/24~	6 食品と環境の保健と私たち	関: 仲間と意見を交換したり、発表したりしようとしている。 思: 自分の意見や仲間との意見交換をもとに、課題の解決方法を考え、日常生活にあてはめたりして選択すべき行動を判断している。 知: 学習した内容を言ったり、書き出したりしている。
12月 12/7~ 12/14~ 12/21~	7 働くことと健康	職業病や労働災害の防止には、作業形態や作業環境の変化を踏まえた健康管理及び安全管理を行うことが必要であることについて学ぶ。
1月 1/7~ 1/12~ 1/18~ 1/25~	8 労働災害と健康 9 健康的な職業生活	関: 仲間と意見を交換したり、発表したりしようとしている。 思: 自分の意見や仲間との意見交換をもとに、課題の解決方法を考えたり、日常生活にあてはめたりして選択すべき行動を判断している。 知: 学習した内容を言ったり、書き出したりしている。
2月 2/1~ 2/8~ 2/15~ 2/22~		
3月 学年末考査	防災活動	自然環境の変化により様々な災害が起こりうる状況になっているため個々の防災に対する意識を高める。 関: 仲間と意見を交換したり、発表したりしようとしている。 思: 自分の意見や仲間との意見交換をもとに、課題の解決方法を考える。 知: 学習した内容を言ったり、書き出したりしている。
言語活動の充実のための学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとの「学習の目標」に照らし合わせたテーマで、グループディスカッションや、ディベートを行う。 ・学習の成果をまとめ全体の場で発表する。 (単元の内容により実施方法は検討する)	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・各学期1回の定期考査 ・ディスカッションや、ディベートへの取り組み姿勢 ・ノートや小テストなど 	

外国語(英語)・コミュニケーション英語Ⅱ [2年]普通科 (4)単位

目 標		英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えを的確に理解し、適切に伝える能力を伸ばす。 Reading:教科書の題材や社会で話題となっているような事柄に関する新聞記事などの英文を1分間に110語程度のスピードで読むことができる。 Listening:はっきりとした発音で話されている身近な話題に関する説明や物語を聴いて、概要や要点を把握することができる。 Writing:幅広い題材について、その概要や要点をある程度まとまりのある文章で的確に要約することができる。 Speaking:他の話し手の意見に同意したり反論したりして意見交換をすることができる。
使用教科書		Perspective English CommunicationⅡ(第一学習社)
副 教 材		Perspective English CommunicationⅡ 本文完成ノート(第一学習社)、アクティブ英単語2100(学研プラス)
時 期		学 習 内 容 評 価 規 準
6月	6/1~ 6/8~ 6/15~ 6/22~ 中間考査	Lesson 1 A Hunger for Knowledge エネルギーについて独学し、風力発電機を自作した少年について学び、「自ら学び続けること」の意義について考える。 文法: With...などが条件を表す仮定法 / 同格の that Lesson 2 The Mission of the Olympics 文法: 未来完了形 / 完了動名詞
7月	6/29~ 7/6~ 7/13~ 7/20~ 期末考査	Lesson 3 Amazing Tool Users 動物の道具使用を例に、動物の生態について学ぶ。 文法: 仮定法を含む表現 / 否定語+倒置 Lesson 4 Khaled Reshad 日本の地域医療に携わるアフガニスタン人医師の履歴を通し、高齢社会、医療、国際理解等の今日的課題について考える。 文法: be to-不定詞 / 前置詞+関係代名詞
8月	8/3~ 8/17~ 8/24~ 8/31~	Lesson 5 Lost and Wanted 飢餓を引き起こす一因である食料損失・食料廃棄について、それらが発生する理由や、環境に及ぼす悪影響について知る。 文法: 独立分詞構文 / 複合関係詞
9月	9/7~ 9/14~ 9/23~ 9/28~ 中間考査	Lesson 6 Taro's Suns Look Toward World Peace 岡本太郎の芸術、生き方について学び、自分のそれと重ねて考える。 文法: 動名詞の意味上の主語 / 動名詞(受動態)
10月	10/5~ 10/12~ 10/19~ 10/26~	Lesson 7 Machu Picchu — City in the Clouds マチュピチュ遺跡からインカ文明の高度な技術を学ぶとともに、文化財の所有権をめぐる問題や、観光開発と自然保護という課題について考える。
11月	11/2~ 11/9~ 11/16~ 11/24~ 期末考査	Lesson 8 The Little Rock Nine 過去の黒人差別事件を通し、差別する側、される側の立場を踏まえながら、人が人を差別するとはどういうことか考える。 文法: with+名詞+分詞など / 仮定法現在
12月	12/7~ 12/14~ 12/21~	Lesson 9 A Long Voyage for Friendship エルトゥールル号遭難事件をきっかけに今日に続く日本とトルコ間の関係を通じ、個人の行動が国際交流や世界平和にどうつながるのか考える。 文法: 進行形(受動態) / 完了不定詞
1月	1/7~ 1/12~ 1/18~ 1/25~	Reading 2 Reclaiming a Life from the Street トラックドライバーの善意の行動がホームレスの男性を救ったという実話を通じ、自分の周りのことを自らの問題としてとらえ、お互いによりよく生きていくために何が出来るかを考える。
2月	2/1~ 2/8~ 2/15~ 2/22~ 学年末考査	
3月	3/4~ 3/8~ 3/15~ 3/23~	文法の総復習と発展問題の演習を行う。 英作文の演習を行う。
言語活動の充実のための学習活動		ア 事物に関する紹介報告、対話や討論を聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また聞き手に伝わるように音読や詠唱を行う。
評価方法		a. 授業に対する意欲 b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査

外国語(英語)・コミュニケーション英語Ⅱ [2年]理数科 (3)単位

目 標		英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えを的確に理解し、適切に伝える能力を伸ばす。 Reading:教科書の題材や社会で話題となっているような事柄に関する新聞記事などの英文を1分間に110語程度のスピードで読むことができる。 Listening:はっきりとした発音で話されている身近な話題に関する説明や物語を聴いて、概要や要点を把握することができる。 Writing:幅広い題材について、その概要や要点をある程度まとまりのある文章で的確に要約することができる。 Speaking:他の話し手の意見に同意したり反論したりして意見交換をすることができる。	
使用教科書		Perspective English CommunicationⅡ(第一学習社)	
副 教 材		Perspective English CommunicationⅡ 本文完成ノート(第一学習社)、アクティブ英単語2100(学研プラス)	
時 期		学 習 内 容 評 価 規 準	
6月	6/1~ 6/8~ 6/15~ 6/22~	Lesson 1 A Hunger for Knowledge エネルギーについて独学し、風力発電機を自作した少年について学び、「自ら学び続けること」の意義について考える。 文法: With...などが条件を表す仮定法 / 同格の that 中間考査 Lesson 2 The Mission of the Olympics 文法: 未来完了形 / 完了動名詞	①コミュニケーションへの関心・意欲・態度 コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。 「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。
	7月	6/29~ 7/6~ 7/13~ 7/20~	
8月	8/3~ 8/17~ 8/24~ 8/31~	Lesson 5 Lost and Wanted 飢餓を引き起こす一因である食料損失・食料廃棄について、それらが発生する理由や、環境に及ぼす悪影響について知る。 文法: 独立分詞構文 / 複合関係詞	③外国語理解の能力 英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。 英語を聴いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりすることができる。
	9月	9/7~ 9/14~ 9/23~ 9/28~	
10月	10/5~ 10/12~ 10/19~ 10/26~	Lesson 7 Machu Picchu — City in the Clouds マチュピチュ遺跡からインカ文明の高度な技術を学ぶとともに、文化財の所有権をめぐる問題や、観光開発と自然保護という課題について考える。 文法: 完了形の分詞構文 / 主語が条件を表す仮定法	④言語や文化についての知識・理解 英語のしくみ、使われている言葉の意味や働き等を理解するとともに、言語の背景にある文化を理解している。
	11月	11/2~ 11/9~ 11/16~ 11/24~	
12月	12/7~ 12/14~ 12/21~	Lesson 9 A Long Voyage for Friendship エルトゥールル号遭難事件をきっかけに今日に続く日本とトルコ間の関係を通じ、個人の行動が国際交流や世界平和にどうつながるのか考える。 文法: 進行形(受動態) / 完了不定詞	④言語や文化についての知識・理解 英語のしくみ、使われている言葉の意味や働き等を理解するとともに、言語の背景にある文化を理解している。
	1月	1/7~ 1/12~ 1/18~ 1/25~	
2月	2/1~ 2/8~ 2/15~ 2/22~	文法の総復習と発展問題の演習を行う。	④言語や文化についての知識・理解 英語のしくみ、使われている言葉の意味や働き等を理解するとともに、言語の背景にある文化を理解している。
	3月	3/8~ 3/15~ 3/23~	
言語活動の充実のための学習活動		A 事物に関する紹介報告、対話や討論を聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 I 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また聞き手に伝わるように音読や詠唱を行う。	
評価方法		a. 授業に対する意欲 b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査	

外国語(英語)・英語表現Ⅱ [2年]普通科・理数科 (2)単位

目標	構文や文法・語法の理解を深めるとともに習熟した知識を使って、日常生活の基本的な事柄について英語で自己表現できることを目指す。更にパラグラフライティング等についての理解を深め最終的にまとまった英語の文章が筋道立てて書けることを目指す。	
使用教科書	EMPOWER ENGLISH EXPRESSION II MASTERY COURSE	
副教材	チャート式基礎からの新々総合英語, EMPOWER ENGLISH EXPRESSION II MASTERY COURSE Workbook	
時期	学習内容	評価規準
6月	6/1~ 各教材の使い方、授業の進め方を説明 PART 1 Lesson 1 文の構造(5文型), There is(are)... 6/8~ Lesson 2 SVOC(C:動詞の原形、現在分詞、過去分詞) Lesson 3 日本語で表されない主語、天候・時間・距離の it、形式主語の it 6/15~ 6/22~ Lesson 4 否定の主語、無生物主語 中間考査	それぞれの学習内容に対して次の観点で評価する ①関心・意欲・態度 コミュニケーションに関心を持ち、積極的な態度で言語活動に参加することで、自己を表現したり、他者とのコミュニケーションを図ろうと努力しているか。
7月	6/29~ Lesson 5 現在・過去時制、現在・過去進行形 7/6~ Lesson 6 現在・過去完了、現在・過去完了進行形 7/13~ Lesson 7 未来を表す表現 7/20~ Lesson 8 義務・必要・許可・推量の助動詞、過去の習慣 期末考査	②表現の能力 さまざまな話題やテーマについて、情報や考えなど、相手に伝えようとする内容を、英語で話したり書いたりして、適切に表現することができるか。
8月	8/3~ Lesson 9 受動態 スピーキングテスト 8/17~ Lesson 10 名詞的用法、動名詞 8/24~ Lesson 11 that 節、if 節、whether 節、wh 節等 8/31~ Lesson 12 名詞を修飾する語句 9/7~ Lesson 13 関係代名詞、関係副詞①(制限用法) 9/14~ Lesson 14 関係代名詞、関係副詞②(前置詞+関係代名詞、非制限的用法)	③理解の能力 表現の基礎となる文法事項を理解し、さまざまな話題やテーマについて、英語を読んだり聞いたりして、情報や考えなどを理解することができるか。
9月	9/23~ Lesson 15 副詞的用法の不定詞、分詞構文 中間考査	④言語や文化についての知識・理解 英語の学習を通して、言語や文化についての知識を身につけ、さまざまなテーマについての理解を深めることができるか。
10月	10/5~ Lesson 16 時・理由・条件・譲歩・程度・結果・目的の副詞節、 10/12~ 10/19~ Lesson 17 否定語、部分否定 10/26~ Lesson 18 比較①(原級、比較級、最上級) 11/2~ Lesson 19 比較②(さまざまな比較表現) 11/9~ Lesson 20 仮定法過去、仮定法過去完了	
11月	11/16~ PART 2 Lesson 1 歴史「時間の順序」を示すパラグラフで用いられるつなぎ言葉・表現 11/24~ 期末考査 スピーキングテスト	
12月	12/7~ Lesson 2 メディア「分類」を示すパラグラフで用いられるつなぎ言葉・表現 12/14~ 12/21~	
1月	1/7~ Lesson 3 国の比較「比較・対照」を示すパラグラフで用いられるつなぎ言葉・表現 1/12~ 1/18~	
2月	1/25~ Lesson 4 留学「原因(理由)・結果」を示すパラグラフで用いられるつなぎ言葉・表現 2/1~ 2/8~ 2/15~ Lesson 5 ゴミ問題「意見・主張」を示すパラグラフで用いられるつなぎ言葉・表現 2/22~ 学年末考査	
3月	3/4~ speaking 演習 3/8~ How to write an essay まとまった考えを表現する 3/15~ 3/23~	
言語活動の充実のための学習活動	書いた文をペアやグループで添削し合う機会を設ける。 定期的にまとまった文を書き、書いた内容を元に会話やインタビューを実施する。 作文のトピックについて、ペアやグループで議論し、意見を深める。	
評価方法	英語で自己表現する機会として、定期的にまとまった文を書かせ評価する。普段の取り組み状況、課題に対する取り組みや提出状況等も評価の対象とする。各レッスンでターゲットになっている構文や文法事項を正しく理解し、それらを用いて表現することができるかを定期テストに加えて、スピーキングテストを行うことで、評価する。	

外国語(英語)・実践コミュニケーションⅡ [2年]普通科英語コース (1)単位

目 標	地域社会、外国の諸問題、芸術・文化、価値観など幅広い話題について情報を収集・整理し、英語を用いたより高度なコミュニケーション能力および意欲・態度を身に付ける。ディベート、ディスカッション、スピーチ、プレゼンテーションの技術を身につける。	
主たる教材	自作教材	
副 教 材		
時 期	学 習 内 容	評 価 規 準
6月 6/1~ 6/8~ 6/15~ 6/22~ 中間考査	過去のスピーチコンテスト鑑賞・考察 スピーチ原稿の作成/ディベートトーナメント準備 スピーチ原稿の作成/ディベートトーナメント準備	①コミュニケーションへの関心・意欲・態度 ・「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。 ・トピックについて、議論するのに十分な調査ができる。
7月 6/29~ 7/6~ 7/13~ 7/20~ 期末考査	ディベートトーナメント(1) ディベートトーナメント(2) スピーキングテストの準備 ディベートトーナメント(3) ディベートトーナメント 準決勝 ディベートトーナメント決勝	・立論を書き、想定できる反駁を班で打ち合わせ、積極的にディベートへ向けての準備ができる。 ・フォーマットに則ってディベートができる。 ・トピックに関心を持ち、情報や語彙を積極的に取り入れようとする。 ・トピックについて自ら情報を収集しようとする。
8月 8/3~ 8/17~ 8/24~ 8/31~	新しいdebate topic の導入 スピーチ原稿の校正 スピーチデリバリーの練習 スピーチコンテスト	②外国語表現の能力 ・情報や考えなどについて、英語で話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。
9月 9/7~ 9/14~ 9/23~ 9/28~ 中間考査	英語ディベート: That the Japanese Government should ban production and sales of fossil-fueled cars, including hybrid cars, by 2035. 日本政府は、(ハイブリッド車も含む)化石燃料車の製造と販売を 2035 年までに禁止すべきである。	・情報や考えなどについて、英語で簡潔に書くことができる。 ・相手の意見を聞いて、反駁や質疑応答ができる。 ・与えられたトピックについて、ある程度まとまりのある英文で書いたり、話したりして自分の意見を述べるができる。
10月 10/5~ 10/12~ 10/19~ 10/26~	・トピックについて理解し、必要な情報を収集する。 ・メリット・デメリットまとめ、情報交換する。 ・反駁やディフェンスを考える。 ・サマリーの仕方を学ぶ	・メリット、デメリットを列挙することができる。 ・調べたことをまとめ、わかりやすく発表できる。 ・論理的な立論を作成することができる。 ・短時間で効果的に自分の意見をまとめ、述べるができる。
11月 11/2~ 11/9~ 11/16~ 11/24~ 期末考査	・立論の作成と、チームディベート ディベートトーナメント(1) ディベートトーナメント(2)	・プレゼンテーションの要点を習得し、わかりやすくまとめ、発表することができる。 ・社会的な問題について、ある程度まとまりのある英文で書いたり、話したりして自分の意見を述べることができる。
12月 12/7~ 12/14~ 12/21~	ディベートトーナメント(3) ディベートトーナメント 準決勝 ディベートトーナメント決勝	③外国語理解の能力 ・英語を聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりすることができる。
1月 1/7~ 1/12~ 1/18~ 1/25~	Discussion & Presentation ・世界規模の問題について学び、話し合う。 ・見本となるプレゼンテーションを鑑賞し、presentation skills を学ぶ	・トピックについて書かれた英文を理解し、情報や語彙を積極的に習得できる。 ・トピックについてのメリット・デメリットを整理できる。 ・他人の発表した内容に関して、質問したり意見を述べたりできる。
2月 2/1~ 2/8~ 2/15~ 2/22~ 学年末考査	・自分でテーマを設定し、必要な情報を収集する。 ・学んだ情報を他人にわかりやすくまとめ、英語で発表する練習をする。	・トピックについて現状を深く分析し把握できる。 ④言語や文化についての知識・理解 ・英語のしくみ、使われている言葉の意味や働き等を理解するとともに、言語の背景にある文化を理解している。
3月 3/4~ 3/8~ 3/15~ 3/23~	プレゼンテーション大会リハーサル① プレゼンテーション大会リハーサル② プレゼンテーション大会	
言語活動の充実のための学習活動	様々な論題(社会的な問題、時事的な問題)について、ディベートやディスカッションを行う。 英語で5分間のスピーチを行う。 ペアを組み、興味のあるテーマについて調べ、分析し、まとめ、英語で6分間のプレゼンテーションをする。	
評価方法	スピーキングテスト(2回)・定期考査(3回)・授業での活動状況・発表内容・課題の提出 夏季休業中に(8月末)に校内スピーチコンテストを行う。 3月中旬にプレゼンテーション大会を行う。	

情報・社会と情報 [2年]普通科・理数科 (1)単位

目標	情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。	
使用教科書	「社会と情報」(開隆堂)	
副教材	「社会と情報 サブノート」(開隆堂), 「基本操作マスター」(開隆堂)	
時期	学習内容	評価規準
6月 6/1~ 6/8~ 6/15~ 6/22~ 中間考査	ユニット4 情報の表現と伝達 / 実習 表計算 ①情報の伝達 ②情報の収集と加工・統合 ③情報の表現の工夫 ④表現した情報の評価と改善 ⑤適切な情報の伝達	①情報機器を活用して多様な形態の情報を統合しようとするとともに、伝えたい内容を分かりやすく表現し、効率的に伝達しようとしている。〈関心・意欲・態度〉授業態度、授業の記録(サブノート) ②デジタル化された情報や情報機器の種類と特性を踏まえて、目的に応じた方法を判断し、情報を適切に表現・伝達するよう考えている。〈思考・判断・表現〉授業の記録(サブノート)
7月 6/29~ 7/6~ 7/13~ 7/20~ 期末考査	ユニット2 コミュニケーション / 実習 表計算 ①コミュニケーションとその過程 ②コミュニケーション手段の歴史 ③通信サービスによるコミュニケーション ④効果的なコミュニケーション手段の選択	③情報機器を活用して多様な形態の情報をデジタル化するとともに、それらの情報を統合して分かりやすく表現し、効率的な情報伝達をすることができる。〈技能〉実習 ④情報の効果的な伝達方法や、情報を統合し表現する方法、適切な情報の伝達について理解している。〈知識・理解〉ペーパーテスト
8月 8/3~ 8/17~ 8/24~ 8/31~	ユニット5 情報通信ネットワーク/実習 Web ページ ①情報通信ネットワーク ②情報通信ネットワークのきまり ③データの道のり ④インターネット上のサービスのしくみ	①コミュニケーションの過程やコミュニケーション手段の歴史に関心を持つ。通信サービスを活用した、効果的なコミュニケーションを行おうとする。〈関心・意欲・態度〉授業態度、授業の記録(サブノート) ②目的に応じたコミュニケーションを行うために、情報伝達の特性や通信サービスを活用したコミュニケーションツールの活用方法を考える。〈思考・判断・表現〉授業の記録(サブノート)
9月 9/7~ 9/14~ 9/23~ 9/28~ 中間考査		③通信サービスの特性を踏まえ、コミュニケーションの目的や状況に応じた効果的なサービスを選択できる。〈技能〉授業の記録(サブノート)
10月 10/5~ 10/12~ 10/19~ 10/26~	ユニット8 情報システム / 実習 Web ページ ①産業における情報システム ②交通の情報システム ③防災の情報システム ④そのほかの情報システム ⑤情報システムの連携	①情報通信ネットワークのしくみや特性を理解している。〈知識・理解〉ペーパーテスト
11月 11/2~ 11/9~ 11/16~ 11/24~ 期末考査		①社会を支えるさまざまな情報システム及び、情報化が社会に及ぼす影響について関心を持つ。〈関心・意欲・態度〉授業態度・授業の記録(サブノート)
12月 12/7~ 12/14~ 12/21~	ユニット9 問題解決 / 実習 アニメーション ①問題と問題解決 ②問題解決の流れ	②社会で利用されている情報システムや情報化が社会に及ぼす影響について思考を深め、望ましい情報社会のあり方を判断できる。〈思考・判断・表現〉授業の記録(サブノート)
1月 1/7~ 1/12~ 1/18~	望ましい情報社会へ ①情報システムの恩恵と課題 ②情報社会を創造するわたしたち	③身の回りの情報システムについて、どのような情報が扱われているか考えることができる。〈技能〉実習
2月 1/25~ 2/1~ 2/8~ 2/15~ 2/22~		④社会を支えるさまざまな情報システムの種類と特性を理解するとともに、情報化が社会に及ぼす影響について理解している。〈知識・理解〉ペーパーテスト
3月 学年末考査 3/4~ 3/8~ 3/15~ 3/23~		①情報機器や情報通信ネットワークを用いて問題を解決しようとしている。〈関心・意欲・態度〉授業態度・授業の記録(サブノート) ②身の回りの問題を解決するために、使用する情報機器や情報通信ネットワークを適切に選択できる。〈思考・判断・表現〉授業の記録(サブノート) ③問題解決の手順や手法を用いて問題の解決をすることができる。〈技能〉実習 ④問題解決の基本的な流れを理解している。〈知識・理解〉ペーパーテスト
言語活動の充実のための学習活動	情報手段などを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的なコミュニケーションを行うために必要な基礎的な知識・技能を習得させるために、情報手段等の目的に応じた適切な選択、情報の信憑性や著作権への配慮の必要性・重要性、望ましい情報社会の在り方と情報技術の適切な活用等について、生徒が主体的に考え、討議し、発表する等の学習活動を充実する。	
評価方法	ペーパーテスト(定期考査)・実習態度・授業の記録(サブノート)・課題作品・レポート提出等を総合的に判断し評価する。	

理数・理数数学Ⅱ(数学Ⅱ・数学Ⅲ分野) [2年]理数科 (4)単位

目 標	数学における基本的な概念や原理・法則の理解を深め、事象を数学的に考察し処理する能力を高め、数学的活動を通して創造性の基礎を培うとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識し、それらを積極的に活用する態度を育てる。	
使用教科書	改訂版 新編 数学Ⅱ【数研出版】(104 数研 数Ⅱ/329) 改訂版 新編 数学Ⅲ【数研出版】(104 数研 数Ⅲ/324)	
副 教 材	4プロセス 数学Ⅱ+B【数研出版】 チャート式 数学Ⅱ+B【数研出版】 4プロセス 数学Ⅲ【数研出版】 チャート式 数学Ⅲ【数研出版】	
時 期	学 習 内 容	評 価 規 準
6月 6/1~ 6/8~ 6/15~ 6/22~ 中間考査	第3章 図形と方程式 第3節 軌跡と領域 第4章 三角関数 第1節 三角関数	[関]:関心・意欲・態度 [見]:数学的な見方や考え方 [技]:数学的な技能 [知]:知識・理解 ◎図形の問題を座標平面上で代数的に解決する解法よさを知らうとする。[関] ◎条件を満たす軌跡や領域を式や図で表せる。[技] ◎弧度法で表された角の三角関数の値を、三角関数の定義によって求めることができる。[知] ◎三角関数の周期とグラフの形の関係、定義域に注意して、正しいグラフがかけられる。[見] ◎ $-1 \leq \sin \theta \leq 1$ などに注意して、おき換えによって三角関数を含む関数の最大値・最小値を考察できる。[技] ◎加法定理を利用して、種々の三角関数の値を求めることができる。[技][知]
7月 6/29~ 7/6~ 7/13~ 7/20~ 期末考査	第2節 加法定理	◎平均変化率・微分係数の定義を理解し、求めることができる。[知] ◎導関数の定義が理解できている。[知] ◎導関数を利用して、微分係数が求められることを理解している。[技] ◎接線の方程式を求められる。[技] ◎導関数を利用して、関数の極値を求めたり、グラフをかくことができる。[知]
8月 8/3~ 8/17~ 8/24~ 8/31~	第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数	◎不定積分・定積分の定義や性質を理解し、それを利用する計算方法を理解している。[知] ◎面積 $S(x)$ が関数 $f(x)$ の原始関数であることに興味や関心をもち、考察しようとする。[関] ◎直線や曲線で囲まれた部分の面積を定積分で表して求めることができる。[知] ◎ $f(x) - g(x)$ の面積公式では、この式を線分の長さの総和として見ることができる。[見] ◎複素数平面の定義を理解している。[知]
9月 9/7~ 9/14~ 9/23~ 9/28~ 中間考査	第2節 関数の値の変化	◎極形式の有用性を理解し、乗法と除法の図形的意味を理解し、活用することができる。[技][知] ◎ド・モアブルの定理を利用して、複素数の n 乗を計算することができる。[知] ◎複素数平面上の図形に現れる角や辺の長さの比が複素数を用いて考察できる[見][知] ◎2次曲線を解析幾何学的方法で考察することに意欲的に取り組もうとする。[関] ◎2次曲線の方程式から、概形をかくことができる。[技] ◎いろいろな曲線を媒介変数表示で表すことができる。[知][技] ◎直交座標と極座標を理解できる。[知][技] ◎直交座標で表された方程式を極方程式で表すことができる。[見][技][知]
10月 10/5~ 10/12~ 10/19~ 10/26~	第3節 積分法	◎分数関数や無理関数の定義を理解し、グラフをかくことができる。[知] ◎分数不等式や無理不等式をグラフを利用することで、解くことができる。[見][技]
11月 11/2~ 11/9~ 11/16~ 11/24~ 期末考査	〈数学Ⅲ〉 第1章 複素数平面	◎逆関数・合成関数を理解し、種々の関数の逆関数や合成関数を求めることができる。[知][技][見]
12月 12/7~ 12/14~ 12/21~	第2章 式と曲線 第1節 2次曲線	
1月 1/7~ 1/12~ 1/18~ 1/25~	第2節 媒介変数表示と極座標	
2月 2/1~ 2/8~ 2/15~ 2/22~ 学年末考査	第3章 関数	
3月 3/4~ 3/8~ 3/15~ 3/23~		
言語活動の充実のための学習活動	日々の授業の中で行う。式の羅列ではなく、筋道と根拠がわかる答案を作ることを目標にする。 発表を中心として、言語活動を充実させる。	
評価方法	各定期考査による成績。 ◎単元ごとの小テストや、定期考査ごとの課題(ノート)等を参考にして評価する。	

理数・理数数学特論 [2年]理数科 (3)単位

目 標	数学における基本的な概念や原理・法則の理解を深め、事象を数学的に考察し処理する能力を高め、数学的活動を通して創造性の基礎を培うとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識し、それらを積極的に活用する態度を育てる。	
使用教科書	改訂版 新編 数学 A【数研】(104数研/数 A329)、改訂版 新編 数学 B【数研出版】(104 数研 数 B/327)	
副 教 材	4プロセス 数学 I + A【数研出版】 チャート式 数学 I + A【数研出版】 4プロセス 数学 II + B【数研出版】 チャート式 数学 II + B【数研出版】	
時 期	学 習 内 容	評 価 規 準
6月	6/1~ (数学 A 第 3 章 整数の性質) 6/8~ 第1章 平面上のベクトル 6/15~ 第1節 ベクトルとその演算 6/22~ 第2節 ベクトルと平面図形 中間考査	〔関〕:関心・意欲・態度 〔見〕:数学的な見方や考え方 〔技〕:数学的な技能 〔知〕:知識・理解 ◎学習したことを身近な事象に当てはめたり、より深く数学的に考察することができる。〔関〕〔見〕
7月	6/29~ 第2章 空間のベクトル 7/6~ 7/13~ 7/20~ 期末考査	◎ユークリッドの互除法を活用して二元一次方程式の整数解を求めることができる。〔技〕 ◎循環小数の数の並びの規則性に気づく。〔見〕 ◎ n 進法の表示や数の計算に関する知識を身につけている。〔知〕 ◎ベクトルの基本的な概念や加法、減法、実数倍の計算の仕組みを理解している。〔知〕 ◎ベクトルの内積のもつ図形的な意味を探ろうとする。〔関〕 ◎ベクトルの内積を求めることができ、実数であることを理解している。〔知〕〔技〕〔見〕 ◎図形上の頂点に関する位置ベクトルを定めて図形を考察できる。〔技〕 ◎位置ベクトルを使って図形を考察できる。〔見〕 ◎直線や円のベクトル方程式を理解している。〔知〕
8月	8/3~ 第3章 数列 8/17~ 第1節 等差数列と等比数列 8/24~ 8/31~	◎空間における図形を図や座標を利用して示すことができる。〔技〕 ◎空間のベクトルを平面上のベクトルの拡張としてとらえることができる。〔見〕 ◎成分表示されたベクトルについて内積を計算できる。〔知〕 ◎内積を利用して、空間図形の性質を証明できる。〔知〕
9月	9/7~ 第3節 漸化式と数学的帰納法 9/14~ 9/23~ 9/28~ 中間考査	◎数列の定義、表記、用語、記号について理解し、適切に用いることができる。〔知〕〔技〕 ◎数の並び方に興味をもち、その規則性を発見しようとする意欲がある。〔見〕〔関〕 ◎等差数列の一般項とその和を求めることができる。〔技〕〔知〕 ◎等比数列の一般項とその和を求めることができる。〔技〕〔知〕
10月	10/5~ 第2節 いろいろな数列 10/12~ 10/19~ 10/26~	◎記号 Σ の意味と性質を理解し、数列の和が求められる。〔技〕〔知〕 ◎数列の和を記号 Σ で表して、和の計算を簡単に行うことができる。〔見〕 ◎数列の規則性の発見に階差数列が利用できる。〔見〕 ◎群数列に興味をもち、考察しようとする。〔関〕
11月	11/2~ 第3節 漸化式と数学的帰納法 11/9~ 11/16~ 11/24~ 期末考査	◎初項と漸化式を用いて数列を定義できることを理解している。〔見〕 ◎おき換えや工夫を要する複雑な漸化式について、考察しようとする。〔関〕 ◎おき換えを利用して、漸化式から一般項を求めることができる。〔技〕 ◎初項と漸化式から数列の一般項が求められる。〔知〕 ◎数学的帰納法を利用して、いろいろな事柄を積極的に証明しようとする。〔関〕
12月	12/7~ 12/14~ 12/21~	
1月	1/7~ 〈数学 I・A・II・Bの問題演習〉 1/12~ 1/18~ 1/25~	
2月	2/1~ 2/8~ 2/15~ 2/22~ 学年末考査	
3月	3/4~ 3/8~ 3/15~ 3/23~	
言語活動の充実のための学習活動	日々の授業の中で行う。式の羅列ではなく、筋道と根拠がわかる答案を作ることを目標にする。 発表を中心として、言語活動を充実させる。	
評価方法	各定期考査による成績。 ◎単元ごと的小テストや、定期考査ごとの課題(ノート)等を参考にして評価する。	

理数科・理数物理 [2年]理数科 (4)単位

目 標		運動とエネルギー、波、電気に関する基本的な見方や考え方にに基づき、観察・実験などを通して原理・法則を系統的に理解する。また、さまざまな現象に応用して考察できるようにする。	
使用教科書		数研出版 総合物理1, 数研出版 総合物理2	
副 教 材		数研出版 改訂版 リードα 物理基礎・物理, 数研出版 改訂版 フォトサイエンス物理図録	
時 期		学 習 内 容	評 価 規 準
6月	6/1~ 6/8~ 6/15~ 6/22~ 中間考査	運動の表し方 ・速度、加速度 ・落体の運動、平面内の運動	○等速直線運動についてv-t, x-tグラフがもつ性質を理解し、加速度の求め方を習得している。[思・知] ○自由落下・水平投射等の放物運動を鉛直、水平方向に分解して考え、特徴を把握することができる。[思・知] ○力の合成・分解ができる。[知]
7月	6/29~ 7/6~ 7/13~ 7/20~ 期末考査	運動の法則 ・力とそのはたらき ・力のつりあい ・運動の法則 ・摩擦を受ける運動 ・圧力と浮力	○力がつりあう条件を理解し、つりあいの式を書くことができる。[思・技] ○ニュートンの運動の三法則を理解し、運動方程式の適用が確実にできる。[思・知・技] ○静止摩擦力、最大摩擦力、動摩擦力について理解している。空気の抵抗力がはたらく場合の運動について理解している。[関・思]
8月	8/3~ 8/17~ 8/24~ 8/31~	仕事と力学的エネルギー ・仕事、運動エネルギー、位置エネルギー ・力学的エネルギーの保存	○圧力・浮力について、具体例をふまえて理解している。[関・思] ○仕事の定義を理解し、エネルギーを求めることができる。[関・技] ○重力による位置エネルギーと弾性力による位置エネルギーを理解し、保存力による物体の運動では、力学的エネルギーが保存されることや、動摩擦力や空気の抵抗力がはたらくときは力学的エネルギーが保存されないことを考察できる。[思・知・技]
9月	9/7~ 9/14~ 9/23~ 9/28~ 中間考査	波の性質 ・波と媒質の運動 ・波の伝わり方 音 ・音の性質 ・発音体の振動と共振・共鳴	○波を表す基本的な量について理解している。また、観察・実験を通して、現象を説明できる。[思・知] ○音は媒質中を伝わること、高さや強さについて理解している。[関]
10月	10/5~ 10/12~ 10/19~ 10/26~	運動量の保存 ・運動量と力積 ・運動量保存則、反発係数	○観察・実験を通して、弦の振動・気柱の共鳴などを理解している。[思・知] ○波源と観測者が相対的に運動するとき、観測者が聞く振動数の変化について理解している。[思・知]
11月	11/2~ 11/9~ 11/16~ 11/24~	剛体にはたらく力のつり合い	○運動量と力積の関係について理解している。[知] ○運動量保存則について説明できる。[思・知]
12月	12/7~ 12/14~ 12/21~ 1/7~ 1/12~ 1/18~ 1/25~	熱と気体 ・熱と物質、仕事 ・気体の法則 ・気体分子の運動 ・気体の状態変化、熱機関	○力のモーメントについて理解し、力のモーメントのつりあいの式を立てることができる。[知・技] ○熱、比熱、熱容量、内部エネルギーについて理解している。[知] ○熱と仕事の関係を理解し、エネルギーは相互に変換してもその総量は保存されることを理解している。[思・知] ○ボイル・シャルルの法則、状態方程式を立てることができる。[知・思] ○内部エネルギーを気体分子の運動から理解している。[思]
1月	1/7~ 1/12~ 1/18~ 1/25~	円運動と万有引力 ・等速円運動	○定積・等圧・等温・断熱変化におけるエネルギーを捉え、各変化を説明できる。[思・知] ○速度・角速度・回転数・周期の間に一定の関係があること、向心力が必要なことを理解している。[思・知]
2月	2/1~ 2/8~ 2/15~ 2/22~ 学年末考査	・慣性力	○慣性力を理解し、慣性系、非慣性系それぞれの立場で運動を記述することができる。[思・知・技]
3月	3/4~ 3/8~ 3/15~ 3/23~	・単振動	○単振動を理解し、周期や振幅など波動との関連性があることについても理解できている。[思・知]
言語活動の充実のための学習活動		現象について、自分の考えを発表する。観察・実験の結果を予想したり、結果を分析したりして考察を自分の考えで表現する。また、表・グラフ・式・モデルなどを用いて、適切に自分の考えを表現する。	
評価方法		授業に対する取り組みや各定期考査・課題テスト・小テストにおける成績、実験レポートの結果・ノート提出を総合して評価する。	

理数科・理数化学 [2年]理数科 (4)単位

目 標		物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を養う。	
使用教科書		数研出版 『改訂版 化学基礎』 『改訂版 化学』	
副 教 材		第一学習社 『セミナー化学基礎+化学』	実教出版 『四訂版サイエンスビュー化学総合資料』
時 期		学 習 内 容	評 価 規 準
6月	6/1~	第1章 「物質の構成」	<ul style="list-style-type: none"> 物質の構成粒子について、左記の内容を理解、物質と化学結合について観察、実験などを通し内容を理解する。[知識・理解] 観察、実験などに関する技能を身に付けている[知識・技能] 物質の構成について、観察・実験などを通して探究し、物質の構成における規則や関係性を見出し表現できる[思考力・判断力・表現力] 物質量と化学反応式、化学反応について内容を理解するとともに、それらの観察、実験に関する技能が身に付いている[知識・技能] 物質の変化とその利用について、観察・実験などを通して探究し、物質の変化における規則性や関係性を見出して表現できる[思考力・判断力・表現力] アレークス・ブレinstedtの酸・塩基の定義、分類を理解し、pHの指標の便利さと実用性を考えさせる。 [関心・意欲・態度] 中和反応と塩の性質を理解し、中和滴定の実験を通して中和反応の定量的な扱いができる。 [技能] 電子の授受や酸化数の変化から酸化還元反応を分類できる。 [思考・判断] 酸化還元反応の量的計算ができる。 [知識・理解] 二次電池の放電と充電について理解している。水溶液を電気分解したときに起こる反応を、電解質と電極から判断できる。[思考・判断・知識・理解] 結晶の性質に興味を持ち、結晶格子の立体構造を理解し、結晶格子の、配位数、単位格子中の原子の数なども算出することができる。 [関心・意欲・思考・判断・理解・技能] 物質の状態図を理解し、水の特徴に気づく。蒸気圧曲線を使って、沸点を求めることができる。 [関心・思考・判断・理解] 気体の体積、圧力、温度、物質量の関係に興味をもっている。気体の状態方程式を使って、実験により分子量を求めることができる。 [興味・思考・判断・技能・知識・理解] 固体の溶解度、気体の溶解度(ヘンリーの法則)について理解し、それに関連する問題を解くことができる。質量パーセント濃度、モル濃度、質量モル濃度といった濃度の表し方を理解している。 [興味・思考・判断・技能・知識・理解] 熱化学方程式の書き方と意味を理解している。ヘスの法則を使って、不明な反応熱を求めることができる。結合エネルギーと反応熱の関係を理解している。[思考・判断・知識・理解] 反応速度と濃度、温度、触媒の関係を理解している。[知・理] 化学平衡の概念が身につけている。[知識・理解]
	6/8~	第2章 「物質の構成粒子」	
6/15~	第3章 「粒子の結合」		
6/22~	1 イオン結合 2 分子と共有結合		
中間考査	3 分子間力 4 共有結合結晶		
	5 金属結合		
7月	6/29~	第1章 「物質量と化学反応式」	
	7/6~	1 原子量・分子量・式量	
	7/13~	2 物質量	
	7/20~	3 化学反応式、量的関係 溶液の濃度	
期末考査			
8月	8/3~	第2章 「酸と塩基の反応」	
	8/17~	1 酸・塩基、	
	8/24~	2 水の電離と水溶液のpH	
9月	8/31~	3 中和反応	
	9/7~	4 塩の性質	
	9/14~	実験「食酢中の酢酸濃度を求める」	
10月	9/23~	第3章 「酸化還元反応」	
	9/28~	1 酸化と還元 2 酸化剤と還元剤	
	中間考査	3 金属の酸化還元反応 4 酸化還元反応の利用	
	10/5~	実験「酸化還元反応」	
11月	10/12~	第2章	
	10/19~	1 電池	
	10/26~	2 電気分解	
	11/2~	第1章 「粒子の結合と結晶」	
	11/9~	1 粒子の結合と結晶	
	11/16~	実験「金属の単位格子モデルを作る」	
12月	11/24~	第2章 「物質の状態変化」	
	12/7~	1 気液平衡と蒸気圧	
	12/14~	第3章 「気体」	
	12/21~	1 気体の体積	
1月	1/7~	2 気体の状態方程式	
	1/12~	第4章 「溶液」	
	1/18~	1 溶解の仕組み	
	1/25~	2 溶解度	
2月	2/1~	3 希薄溶液の性質	
	2/8~	4 コロイド溶液 実験「コロイド溶液の性質」	
	2/15~	第1章 「化学反応とエネルギー」	
	2/22~	1 化学反応と熱	
学年末考査	2 化学反応と光		
3月	3/4~	第2章 化学反応の早さとしくみ	
	3/8~	1 化学反応の速さ	
	3/15~		
	3/23~		
言語活動の充実のための学習活動	年間を通して「探究の過程」を意識した探究活動を行い、それぞれの過程で自分の考えを文字や言葉で表現・発表する機会を設ける。		
評価方法	定期考査・小テストにおける成績、実験レポート・課題提出等を総合して評価する。		

理数科・理数生物 [2年]理数科 (2)単位(2学期中間以降)

目 標		近年の生物学に関する知識を身につけると共に、科学的・論理的な思考力を養う。また、実験を通して自分で操作すること、提出物をきちんとだすことなどを習慣づける。	
使用教科書		数研出版「改訂版 生物基礎」 第一学習社「改訂 高等学校 生物」	
副 教 材		第一学習社「七訂版 スクエア 最新図説 neo」 第一学習社「2019 セミナー 生物基礎＋生物」	
時 期		学 習 内 容	評 価 規 準
6月	6/1～		
	6/8～		
	6/15～		
	6/22～		
中間考査			
7月	6/29～		
	7/6～		
	7/13～		
	7/20～		
期末考査			
8月	8/3～		
	8/17～		
	8/24～		
	8/31～		
9月	9/7～		
	9/14～		
	9/23～		
	9/28～		
中間考査			
10月	10/5～	生物基礎	○体液の働きや、心臓を中心とした循環系について理解している(関・思・知) ○腎臓や肝臓の働きについて、尿生成のしくみと共に理解している(関・思・技・知) ○ブタの肝臓や心臓、肺を用いた実験でその理解を深める。(関・思・技・知) ○自律神経の働きやホルモンによる調節、特に血糖量調節について知ることで、健康や進化について考える。(関・思・知) ○免疫で働く細胞やシステムを理解し、健康に関心を持つ(関・思・知) ○免疫に関わるタンパク質について理解する(生物)。(関・思・知)
	10/12～	第2編 生物の体内環境の維持	
	10/19～	第3章 生物の体内環境	
	10/26～	1. 体液という体内環境	
11月	11/2～	2. 腎臓と肝臓	
	11/9～	3. 神経とホルモンによる調節	
	11/16～	4. 免疫	
	11/24～	期末考査	
12月	12/7～	生物	○ATPの役割やエネルギーの概念を理解する。(関・思・知) ○光合成の詳細なしくみを理解している。(関・思・技・知)
	12/14～	第2章 代謝	
	12/21～	1. 代謝とエネルギー代謝	
	1/7～	2. 同化	
1月	1/12～	3. 窒素同化	
	1/18～	4. 異化	
2月	1/25～	第4章 有性生殖	○窒素同化についてその詳細な経路を理解している。(関・思・知) ○アルコール発酵などの実験を通し呼吸を理解する。(関・思・技・知) ○遺伝子と染色体の関係を理解している。(関・思・知) ○減数分裂を正しく理解し、染色体の乗り換えについて知る。(関・思・知) ○染色体の連鎖、組換えと配偶子の種類、組み合わせの関係を理解している。(関・思・知)
	2/1～	1. 減数分裂と受精	
	2/8～	2. 遺伝子と染色体	
	2/15～	学年末考査	
3月	2/22～	2年生生物の復習	
	3/4～		
言語活動の充実のための学習活動		授業中や実験時に結果を予想したり、結果を分析して考察を自分の考えで表現するために発表をする。また、表・グラフ・式などを用いて、適切に自分の考えを表現する。	
評価方法		各定期考査・課題テスト・小テストにおける成績や取り組み、実験レポートの結果・ノート提出を総合して評価する。	

理数・課題研究 [2年]理数科 (1)単位

目 標		平常の授業で扱えない科学に関する研究課題について、継続的な観察・実験を行い、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに、創造性の基礎を培う。また、研究成果を論文などにまとめ、発表する力を養う。				
使用教科書		なし				
副 教 材		研究班毎に研究に必要な文献				
時 期		学 習 内 容	評 価 規 準			
6月	6/1~ 6/8~ 6/15~ 6/22~ 中間考査	○オリエンテーション	○課題研究の1年間の流れを知る。(関・思)			
	7月	6/29~ 7/6~ 7/13~ 7/20~ 期末考査	○研究活動開始 (テーマの設定・年間研究計画書の作成)	○自ら研究テーマを考え、計画を立てられる。(関・思) 以降は、毎時間その時間に行ったこと(準備、実験結果、調査結果のデータなど)のまとめをファイルに記録し、提出する。		
8月		8/3~ 8/17~ 8/24~ 8/31~				
		9月	9/7~ 9/14~ 9/23~ 9/28~ 中間考査			
	10月		10/5~ 10/12~ 10/19~ 10/26~	○ポスターの作り方について		
			11月	11/2~ 11/9~ 11/16~ 11/24~ 期末考査	○中間発表(ポスターセッション形式)	○研究発表に必要なポスターの作り方が身に付いている。 (思・技)
12月		12/7~ 12/14~ 12/21~			○これまでの研究成果をまとめ、大学教授等の前で発表する。 (発表方法に関する指導を受ける) (関・思・技・知)	
		1月		1/7~ 1/12~ 1/18~ 1/25~		
				2月	2/1~ 2/8~ 2/15~ 2/22~ 学年末考査	○本発表(ポスターセッション形式) ○論文作成
	3月		3/4~ 3/8~ 3/15~ 3/23~		彦根東SSHサイエンスフェスティバルの参加 終業式でパワーポイントにより全校生徒の前で発表	○外部や全校生徒に向けて発表する。(関・思・技・知)
言語活動の充実のための学習活動		年間研究計画書、毎時間の活動報告ファイル、中間発表、本発表、研究論文				
評価方法		年間研究計画書、毎時間の活動報告ファイル、研究論文及び中間発表・本発表対する取り組み姿勢により評価する。				